

2023 年度 研究所事業報告書

研究所名	歴史都市防災研究所
------	-----------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究所の実施した全ての研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどを行い、できるだけわかりやすく記述してください。

なお、2023 年度に採択を受けた研究所重点研究プログラムの詳細な実績報告は、プロジェクト毎に書式 B に記述のうえ提出してください。

文化遺産・歴史都市の保全活用と災害安全のため、学問分野が国の「枠」を超えた研究者・実務家間の連環を創発するとともに、減災の伝統知、地域知を先端技術によって高度化し、歴史都市・現代都市の防災対策に適用可能な形式に進化させる未来志向の文化遺産防災学の研究・教育拠点形成を目標に据え活動を行った。以下、具体的成果を活動項目毎に要約する。

- ① 【歴史文化都市の時空間データ基盤研究部会】 歴史文化都市の情報を保存維持するための取り組みと、これらの情報を生かして将来の災害リスク評価や、災害時の対応や復興時の状況を歴史的背景とともに具体的に評価していく。歴史文化都市の「時空間 GIS」「記憶地図」「人の流動」「歴史文化遺産の人災・獣害」「空間評価とデザイン」をテーマに掲げ、京都などの歴史都市や火災で焼失した復元遺産を含む文化遺産を主な対象に、古文書や絵図、修理報告書のアーカイブにくわえて、定型的・非定型的の両面で大規模かつ動的な時空間情報を活用するとともに、多様な側面からの歴史災害都市研究ならびに歴史都市の将来に関するジオデザインに活用するための情報基盤整備と地理空間評価の手法開発を継続した。
- ② 【歴史文化都市の防災技術研究部会】 「歴史・文化・意匠的価値」や「伝統構法」の蓄積である歴史文化都市・地域をモノとして保存するための文化遺産防災技術に関連する研究活動を継続的に発展させて、(1) 歴史的文化財建造物の耐震補強・改修技術の開発、(2) 歴史文化都市の防耐火システムと機器の開発、(3) 歴史文化地域の地盤・水理環境を踏まえた防災技術の開発に関する研究を進めた。
- ③ 【歴史文化都市の防災デザイン研究部会】 歴史文化都市で実際に利活用する人々のくらしやコミュニティを守り維持するためには、受け継がれた地域環境とコミュニティ社会の特性とニーズに合った、「環境的・文化的に重要な空間を保全しつつ開発する」ための計画と政策が不可欠となる。地域固有の物理的・社会的・歴史的特性をデータ基盤により把握し、その特性分析により未来の減災の知恵と呼べる技術を抽出し、これを将来の地域環境と地域社会の時間軸上に実践的に位置づけようとする防災デザイン・コミュニティデザインの視点に立脚した取組みを行ない、一連の研究プロセスの総合化を担った。
- ④ 【国際展開・社会連携 研究支援プログラム】 国際研修は、2023 年度は、コロナ禍の中で得られた経験を活かし、オンラインとオンサイトを合わせたハイブリッド形式による国際研修を実施し、「無形文化遺産の保護と活用による文化遺産の災害リスク管理」というサブテーマに特化した講義・フィールドワークビデオ・ワークショップ・グループディスカッション等を行った。139 名の応募者から 13 名を選抜して研修生とし、これにアソシエイトオブザーバー 2 名を加えた 15 名を対象に実施した。オンラインでは週ごとに設けられたテーマにそって毎回 2 時間 30 分のライブセッションを実施し、講義・質疑/ワークショップ、ディスカッションをおりまぜることで、研修生の主体的な参加を一層促した。また、日本におけるオンサイト研修では数多くの視察とワークショップなどを実施しながら実践例を現場で学んだ。本国際研修の研修生は母国の文化遺産あるいは歴史都市を対象地として選定し、研修中にその対象地に歴史的価値を継承しながらの防災計画策定を行い、研修後にはその計画を実施するパイロットプロジェクトにつなげることになっている。2023 年度の研修生の中でも大多数が研修中に策定した防災計画の実践に向けて取り組んでいるとの報告を受けている。文化遺産防災の人材育成という世界的ニーズへの貢献をより進めることができたと考えている。
- ⑤ 【研究所のその他主催事業等】 研究所の柱となる年次事業として、まず、「第 17 回歴史都市防災シンポジウム」を対面と Zoom 配信のハイブリッド形式で 7/15 に開催した。国内外から 179 名の参加し、計 33 件の研究発表が行われ活発な討議があった。次に、「立命館土曜講座」では「観光とリスク」をテーマに公開講演会として市民向け講義を提供した。また、「定例研究会」を、年度内に 7 回開催し、各研究部会の若手研究者から成果報告がなされ活発な研究交流を行なった。さらに、研究成果発信として学術論文集「歴史都市防災論文集 Vol.17」「京都歴史災害研究 第 25 号」を刊行した。加えて、地域社会への貢献を目指した事業である「第 17 回みんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」では 33 件の応募があり、この内から 10 件を入賞作品として表彰した。また、上位 7 件については、第 27 回全国児童生徒地図優秀作品展へ出展した。創意工夫を凝らした作品が全国から寄せられ、社会的な認知を着実に広めつつある。

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2024年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位
研究所長	吉富 信太	理工学部建築都市デザイン学科	教授
運営委員	花岡 和聖	文学部人文学科(地域研究学域)	准教授
	青柳 憲昌	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
	大窪 健之	理工学部環境都市工学科	教授
	大場 修	衣笠総合研究機構	教授
	小川 圭一	理工学部環境都市工学科	教授
	鐘ヶ江 秀彦	政策科学部政策科学科	教授
	河角 直美	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
	金 度源	理工学部環境都市工学科	准教授
	豊田 祐輔	政策科学部政策科学科	准教授
	深川 良一	理工学部	特命教授
	藤本 将光	理工学部環境都市工学科	准教授
	村中 亮夫	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
	矢野 桂司	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
	SHAKYA, Lata	衣笠総合研究機構	准教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	阿部 俊彦	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
	泉 知論	理工学部電子情報工学科	教授
	伊藤 真一	理工学部環境都市工学科	講師
	岡井 有佳	理工学部環境都市工学科	教授
	川崎 佑磨	理工学部環境都市工学科	准教授
	神田 孝治	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
	木村 智	理工学部建築都市デザイン学科	講師
	小林 泰三	理工学部環境都市工学科	教授
	桜井 政成	政策科学部政策科学科	教授
	里深 好文	理工学部環境都市工学科	教授
	高橋 学	文学部人文学科(地域研究学域)	特任教授
	寺床 幸雄	文学部人文学科(地域研究学域)	准教授
	仲谷 善雄	情報理工学部情報理工学科	教授
	狭間 恵三子	衣笠総合研究機構	教授
	平尾 和洋	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	福水 洋平	理工学部電気電子工学科	准教授
	福山 智子	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
	本間 睦朗	理工学部建築都市デザイン学科	教授
宗本 晋作	理工学部建築都市デザイン学科	教授	
持田 泰秀	理工学部建築都市デザイン学科	教授	

	山崎 有恒	文学部人文学科（日本史研究学域）	教授
	山田 悟史	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
	山本 理佳	文学部人文学科（地域研究学域）	教授
	SAUCEDO Daniel	政策科学部政策科学科	准教授
① 専門研究員 研究員 初任研究員	宮崎 彩	衣笠総合研究機構	専門研究員
	李 敏	衣笠総合研究機構	専門研究員
② リサーチアシスタント	留野 僚也	政策科学研究科	博士課程後期課程
	WANG Baichuan (王 百川)	理工学研究科	博士課程後期課程
③ 大学院生	清水 裕朗	文学研究科	博士課程前期課程
	永松 天騎	文学研究科	博士課程前期課程
	田畑 勇也	文学研究科	博士課程前期課程
	井上 萌来	文学研究科	博士課程前期課程
	石松 智子	文学研究科	博士課程前期課程
	北岡 沙映	文学研究科	博士課程前期課程
	野村 奏子	文学研究科	博士課程前期課程
	眞庭 颯大	理工学研究科	博士課程前期課程
	和田 健吾	理工学研究科	博士課程前期課程
	猪口 朝加	理工学研究科	博士課程前期課程
	村松 凌太	理工学研究科	博士課程前期課程
	山田 和輝	理工学研究科	博士課程前期課程
	富村 郁斗	理工学研究科	博士課程前期課程
	古荘 衣理	理工学研究科	博士課程前期課程
	比果 未穂子	理工学研究科	博士課程前期課程
	佐藤 俊	理工学研究科	博士課程前期課程
	山際 綾	理工学研究科	博士課程前期課程
	瀬沼 駿	理工学研究科	博士課程前期課程
	青山 柊	理工学研究科	博士課程前期課程
	牧田 竜明	理工学研究科	博士課程前期課程
	伊藤 光題	理工学研究科	博士課程前期課程
	井上 拓磨	理工学研究科	博士課程前期課程
	大西 理斗	理工学研究科	博士課程前期課程
	岡本 侑也	理工学研究科	博士課程前期課程
	小磯 佑真	理工学研究科	博士課程前期課程
	住田 琴音	理工学研究科	博士課程前期課程
	村上 由希子	理工学研究科	博士課程前期課程
	喜多 孝輔	理工学研究科	博士課程前期課程
	桑野 稜市	理工学研究科	博士課程前期課程
	廣山 達哉	理工学研究科	博士課程前期課程
	長居 晃希	理工学研究科	博士課程前期課程

学内の若手研究者

西川 杏紗菜	理工学研究科	博士課程前期課程
原 杏希子	理工学研究科	博士課程前期課程
水野 真希	理工学研究科	博士課程前期課程
分部 颯太	理工学研究科	博士課程前期課程
大井 勇人	理工学研究科	博士課程前期課程
岡尾 宗一郎	理工学研究科	博士課程前期課程
樋口 敬治	理工学研究科	博士課程前期課程
米沢 美紅	理工学研究科	博士課程前期課程
LEE Yewon	理工学研究科	博士課程前期課程
井川 快斗	理工学研究科	博士課程前期課程
井上 斐文	理工学研究科	博士課程前期課程
KANG Taelock	理工学研究科	博士課程前期課程
山本 康央	理工学研究科	博士課程前期課程
白野 裕之	理工学研究科	博士課程前期課程
田川 龍	理工学研究科	博士課程前期課程
宮原 陽海	理工学研究科	博士課程前期課程
坂本 佑太	理工学研究科	博士課程前期課程
篠岡 果	理工学研究科	博士課程前期課程
藤田 みつき	理工学研究科	博士課程前期課程
松原 実咲	理工学研究科	博士課程前期課程
森島 明日香	理工学研究科	博士課程前期課程
森田 耕平	理工学研究科	博士課程前期課程
沙 暁蕾	理工学研究科	博士課程前期課程
越智 広樹	理工学研究科	博士課程前期課程
柴田 拓海	理工学研究科	博士課程前期課程
谷川 奈央	理工学研究科	博士課程前期課程
東田 陽樹	理工学研究科	博士課程前期課程
広中 翔	理工学研究科	博士課程前期課程
荒井 勇哉	理工学研究科	博士課程前期課程
中野 雄大	理工学研究科	博士課程前期課程
小泉 彰也	理工学研究科	博士課程前期課程
神原 夏穂	理工学研究科	博士課程前期課程
久保 将己	理工学研究科	博士課程前期課程
岡崎 輝一	理工学研究科	博士課程前期課程
井上 悟郎	理工学研究科	博士課程前期課程
澤 亜美	理工学研究科	博士課程前期課程
小池 侑暉	理工学研究科	博士課程前期課程
寺田 壮志	理工学研究科	博士課程前期課程
松井 華波	理工学研究科	博士課程前期課程
森本 龍	理工学研究科	博士課程前期課程
喜多村 壮	理工学研究科	博士課程前期課程
斎藤 准輝	理工学研究科	博士課程前期課程

坂井 碩紀	理工学研究科	博士課程前期課程
鈴木 里枝	理工学研究科	博士課程前期課程
千本 瑞穂	理工学研究科	博士課程前期課程
西田 彩ら	理工学研究科	博士課程前期課程
増田 颯人	理工学研究科	博士課程前期課程
松原 大樹	理工学研究科	博士課程前期課程
鷲野 壮真	理工学研究科	博士課程前期課程
田中 宏輝	理工学研究科	博士課程前期課程
濱荻 晋太郎	理工学研究科	博士課程前期課程
近藤 一秀	理工学研究科	博士課程前期課程
中瀬 翔吾	理工学研究科	博士課程前期課程
山田 晃愛	理工学研究科	博士課程前期課程
北村 奈都樹	理工学研究科	博士課程前期課程
宮内 祐弥	理工学研究科	博士課程前期課程
岡村 泰誠	理工学研究科	博士課程前期課程
成田 舜人	理工学研究科	博士課程前期課程
竹中 元弥	理工学研究科	博士課程前期課程
長谷川 仁悟	理工学研究科	博士課程前期課程
上村 裕弥	理工学研究科	博士課程前期課程
竹内 理登	理工学研究科	博士課程前期課程
Rafullah Rahimi	理工学研究科	博士課程前期課程
Yang Shao	理工学研究科	博士課程前期課程
嶋津 祐哉	理工学研究科	博士課程前期課程
饗庭 優樹	理工学研究科	博士課程前期課程
本田 暁彦	理工学研究科	博士課程前期課程
山田 迪与	理工学研究科	博士課程前期課程
木村 愛美	理工学研究科	博士課程前期課程
宮澤 楠子	理工学研究科	博士課程前期課程
潮田 龍諒	理工学研究科	博士課程前期課程
渡部 祐輝	理工学研究科	博士課程前期課程
前田 彩花	理工学研究科	博士課程前期課程
福本 真史	理工学研究科	博士課程前期課程
稲川 陽菜	理工学研究科	博士課程前期課程
刑部 もあな	理工学研究科	博士課程前期課程
吉田 有佑	理工学研究科	博士課程前期課程
GUO Jianghao	理工学研究科	博士課程前期課程
TIAN Jinrui	理工学研究科	博士課程前期課程
辻川 愛	理工学研究科	博士課程前期課程
浦長瀬 大世	理工学研究科	博士課程前期課程
竹下 耕樹	理工学研究科	博士課程前期課程
水野 仁	理工学研究科	博士課程前期課程
Ahmad Fahim Gulzada	理工学研究科	博士課程前期課程

	Muhammad Karim Ahmadzai	理工学研究科	博士課程前期課程	
	Shafiqullah Noori	理工学研究科	博士課程前期課程	
	石坂陽太	理工学研究科	博士課程前期課程	
	高尾宗志	理工学研究科	博士課程前期課程	
	中村達也	理工学研究科	博士課程前期課程	
	大島康輔	理工学研究科	博士課程前期課程	
	大知俊介	理工学研究科	博士課程前期課程	
	榑原颯輝	理工学研究科	博士課程前期課程	
	妹尾尚英	理工学研究科	博士課程前期課程	
	安田大輝	理工学研究科	博士課程前期課程	
	SANDRINA Fera	政策科学研究科	博士課程前期課程	
	ESTRADA HERNANDEZ Brandon Eduardo	政策科学研究科	博士課程前期課程	
	TIAN Ye	政策科学研究科	博士課程前期課程	
	花岡 龍	政策科学研究科	博士課程前期課程	
	常木 佳奈	文学研究科	博士課程後期課程	
	印牧 真明	文学研究科	博士課程後期課程	
	武内 樹治	文学研究科	博士課程後期課程	
	Hamid Nikzad	理工学研究科	博士課程後期課程	
	Hojin Kim	理工学研究科	博士課程後期課程	
	Gledis Gjata	理工学研究科	博士課程後期課程	
	QIN Xin	理工学研究科	博士課程後期課程	
	大西 功	理工学研究科	博士課程後期課程	
	清水 泰有	政策科学研究科	博士課程後期課程	
	④ 日本学術振興会特別 研究員 (PD・RPD)			
その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究 生、研修生等)	林 祐妃	衣笠総合研究機構	補助研究員	
	白石 陽子	衣笠総合研究機構	補助研究員	
客員協力研究員	土岐 憲三	衣笠総合研究機構	特別研究フェロー	
	松浦 晃一郎	衣笠総合研究機構	特別研究フェロー	
	林 春男	衣笠総合研究機構	上席研究員	
	星野 安治	国立文化財機構 奈良文化財研究 所 年代学研究	室長	
	武田 史朗	千葉大学大学院 園芸学研究院	教授	
	樋本 圭佑	国土交通省 国土技術政策総合研 究所	主任研究官	
	高橋 暁	ユネスコ・アラブ諸国科学技術地 域事業所	文化担当官	
	福山 大典	株式会社アイエス工業所	取締役	

	田中 哮義	京都大学	名誉教授
	森 清顕	清水寺	執事補
	古川 愛子	京都大学大学院 工学研究科都市 社会工学専攻	准教授
	高松 正彦	一般財団法人日本緑化センター 緑化	事業部長
	森下 雄治	森下漆器株式会社	代表取締役
	大岡 優	都城工業高等専門学校 建築学科	准教授
	林 倫子	関西大学 環境都市工学部 都市 システム工学科	准教授
	JIGYASU, Rohit	Urban Heritage, Climate Change and Disaster Risk Management Programme Unit, ICCROM	Project Manager,
	益田 兼房	衣笠総合研究機構	客員研究員
	石田 優子	近畿大学工業高等専門学校総合 システム工学科	教授
	伊藤 真恵	株式会社横浜コンサルティングファ ーム	ゼネラルマネージャ ー
	AYDIN, Telat	Mita Corporation Bilişim Teknolojileri Dan. ve Dış Tic. A.Ş.	取締役
	山崎 文雄	千葉大学	名誉教授
	DENPAIBOON, Chaweewan	チュラロンコン大学 建築学部	准教授
	石橋 健一	愛知学院大学 総合政策学部	教授
	梶 秀樹	一般社団法人 地域防災支援協会 筑波大学	理事/名誉教授
	神田 隆男	丸軒企業有限公司	京都支店長
	大槻 知史	高知大学 総合科学系地域協働教 育学部門 高知大学 防災推進センター危機 管理分野	准教授
	城月 雅大	名古屋外国語大学 現代国際学部	准教授
	和泉 潤	元 名古屋産業大学 環境情報ビ ジネス学部	特任教授
	RIZZI, Paola	サッサリ大学 都市建築デザイン 学部	教授
	宮崎 洋司	株式会社プラス社会計画センタ ー	所長
	丸岡 稔典	名古屋産業大学	特任講師
	村尾 修	東北大学 災害科学国際研究所 地域・都市再生研究部門 国際防 災戦略研究分野	教授

	崔 明姫	豊橋技術科学大学 都市システム学系	助教
	石原 凌河	龍谷大学 政策学部	准教授
	冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫	理事長
	壽崎 かすみ	龍谷大学 国際学部	准教授
	酒井 宏平	城西大学 現代政策学部	助教
	大橋 弘明	立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部	任期制教員(准教授)
	小野 聡	千葉商科大学商経学部	専任講師
	川道 美枝子	関西野生生物研究所	代表
	岡田 篤正	京都大学	名誉教授
	植村 善博	佛教大学	名誉教授
	大邑 潤三	東京大学地震研究所	助教
	谷端 郷	北海学園大学 人文学部 日本文化学科	講師
	岩本 葉子	京都芸術大学 非常勤講師/京都外国語短期大学	非常勤講師
	松田 法子	京都府立大学大学院	准教授
	前田一馬	京都橘大学経済学部	専任講師
	神戸 啓	うさぎのアトリエぴよんぴよこ ぴよん京 先斗町まちづくり協議会	代表/副会長兼事務局長
	松田 彰	京都市市役所	嘱託職員
	秋尾 沙戸子	ジャーナリスト、作家	
	安田 勝	京都府土地開発公社	職員
	MinguezGarcia Barbara	前ユネスコと世界銀行コンサルタント	客員協力研究員
	米島 万有子	熊本大学大学院 人文社会科学部 研究部	准教授
	島本 多敬	琵琶湖博物館	学芸員
	手塚 薫	北海学園大学 人文学部	教授
	佐藤 貴史	北海学園大学 人文学部	教授
	宇佐美 智之	京都芸術大学芸術学部歴史遺産学科	講師
	浅妻 裕	北海学園大学経済学部	教授
	夏目 宗幸	九州大学 人文科学研究院	助教
	青木 和人	あおき地理情報システム研究所	代表
	矢尾田 清幸	沖縄県土地改良事業団体連合会 参事兼総務	企画課長
	高木 良枝	京都市指定文化財長江家住宅	学芸員

	桐村 喬	皇學館大学 文学部	准教授
	高橋 彰	大阪大学サイバーメディアセン ター	特任助教 (常勤)
	山本 由美子	コルゲート大学 教養学部	講師
	中谷 友樹	東北大学大学院 環境科学研究科	教授
	安本 晋也	中部大学 中部高等学術研究所	講師
	今村 聡	榊キヤドセンター	職員
	鈴木 祥之	京都大学	名誉教授
	棚橋 秀光	TASS デザイン研究室 (TASS Design Institute)	主宰
	佐藤 英佑	株式会社佐藤建築設計	代表取締役
	中野 元太	京都大学防災研究所巨大災害研 究センター	助教
	藤井 健史	金沢工業大学建築学部建築学科	講師
	北本 英里子	神奈川工科大学情報学部情報学 科	准教授
	戸田 堅一郎	株式会社ジオ・フォレスト	代表取締役
その他の学外者			

研究所構成員 計 259 名 (うち学内の若手研究者 計 144 名)

Ⅲ. 研究業績 (公開項目) ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2024年3月31日時点)
また、書式Bの研究業績欄との二重記載をお願いいたします。

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共 著の別	発行年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数)等 の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	青柳憲昌	『建築家による「日本」のディ テール— —モダニズムによる伝統構 法の解釈と再現』	単著	2023年9月	彰国社	青柳憲昌	
2	阿部俊彦	造景 2023「地球環境時代の まちづくりと琵琶湖圏・湖 と森をつなぐさざなみネットワ ークの提案・座談会/水辺の公 園を持つ都市のあり 方」「インタビュー/琵琶湖 とまちをつなぐ長浜の次代 のまちづくり」	共著	2023年9月	建築資料研究社	阿部俊彦、他	
3	大窪健之	10. Surviving Disasters: Traditional Disaster-Resilient Designs in Japan	分担執筆	2023年	Taylor & Francis Managing Disaster Risks to Cultural Heritage: From	Takeyuki Okubo (Chapter Author), Bijan Rouhani and Xavier Romão (Editor)	

					Risk Preparedness to Recovery for Immovable Heritage		
4	大場修	付属屋と小屋の建築誌-もう一つの民家の系譜-	編著	2024年2月	鹿島出版会	大場 修	p. 304
5	大場修	南越前町今庄宿伝統的建造物群保存地区修景デザインマニュアル	編著	2024年3月	南越前町教育委員会	大場 修	p. 49
6	大場修	亀岡旧城下町地区-伝統的建造物群保存対策調査報告書-	編著	2024年3月	亀岡市	大場 修	p. 333
7	河角直美	京都食堂探究	共著	2023年11月	筑摩書房	加藤政洋・《味覚地図》研究会	
8	神田孝治	観光が世界をつくるーメディア・身体・リアリティの観光社会学	共編者	2023年7月	明石書店	須藤廣・遠藤英樹・山口誠・松本健太郎・神田孝治・高岡文章 編 (担当: 神田孝治 『『めがけ』を通して旅を見るー「自由」と「たそがれる」にピントを合わせ』)	
9	神田孝治	移動時代のツーリズムー動きゆく観光学	共編者 (共編著者)	2023年12月	ナカニシヤ出版	神田孝治・遠藤英樹・高岡文章・鈴木涼太郎・松本健太郎編 (担当: 神田孝治序 『『移動時代のツーリズム』』とはー「動きゆく観光学」の姿とその探究」、1章「観光客のまなざしーインターネットが関与する動的な観光地」、2章「テクノロジーーモバイル・テクノロジーと変わりゆく観光の姿」、【コラム 19】「移動とダークツーリズム」、【コラム 20】『COVID-19 への感染リスクと観光復興』、「あとがき」)	
10	金度源	Good Practices for Disaster Risk Management of Cultural Heritage Practices of ITC Participants	共編者	2023年6月	Routledge	Rohit Jigyasu, <u>Dowon Kim</u> , Lata Shakya	
11	金度源	記録遺産の防災に関する専門家会議の参加報告	単著	2023年6月	ICOMOS JAPAN インフォメーション誌 12 (6)		pp. 27-28
12	豊田祐輔	The evolution of disaster education in Japan, In “The Handbook of Disaster Studies in Japan”	単著	2024年	MHM Limited, Tokyo	Author: Toyoda Yusuke, Cavaliere P., Otani J. [Eds.]	forthcoming
13	花岡和聖	Investigating Empirical Validity of Heterolocalism: Focusing on Turkish Residential Patterns in Aichi Prefecture. In: Ishikawa, Y. (eds) Japanese Population Geographies II. SpringerBriefs in Population Studies	共著	2023年6月	Springer, Singapore	Takeshita, S., Hanaoka, K. and Ishikawa, Y.	pp. 1-16

14	平尾和洋	和東の茶業景観 文化的景観保護推進事業調査報告編	分担執筆	2023年7月	和東町		
15	深川良一	Intensified sediment disasters in Japan -The 2011 Kii Peninsula torrential rain disasters -	共著	2023年11月	CRC Press	© Prof. Fukagawa, Editor Prof. Mitamura Prof. Nabeshima Prof. Okajima Prof. Hioki	pp. ix-iv, pp. 1-33, pp. 125-148, pp. 169-189
16	矢野桂司	地理がわかれば世界がわかる！すごすぎる地理の図鑑	共著	2023年5月	KADOKAWA	山本健太、長谷川直子、宇根寛、平野淳平、秋山千亜紀、宋苑瑞	
17	矢野桂司	地図・時空間情報	分担執筆	2023年7月	丸善出版	日本図書館情報学会編『図書館情報学事典』	pp. 364-367
18	矢野桂司	歴史都市京都の地域の知を蓄積・発信するバーチャル京都	分担執筆	2024年1月	古今書院	古今書院『地域学 地域を可視化し、地域を創る』	pp. 144-155
19	Lata Shakya	Good Practices for Disaster Risk Management of Cultural Heritage	共著	2023年6月	Routledge	Rohit Jigyasu, Dowon Kim,	pp. 1~7 and pp 135~138
20	SHAKYA Lata	Good Practices for Disaster Risk Management of Cultural Heritage: Practices of ITC Participants	共編者	2023年6月	Routledge	Rohit Jigyasu, Dowon Kim, Lata Shakya	P135-138
21	Lata Shakya	Proceedings of UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management, International training course 2023	共編者	2024年2月	歴史都市防災研究所	Min Lee, Aya MIYAZAKI, Dowon KIM, Rohit JIGYASU	
22	狭間恵三子	『瀬戸内国際芸術祭と地域創生—現代アートと交流がひらく未来』	単著	2023年11月	学芸出版社		
23	青木和人	オープンデータと QGIS でゼロからはじめる地図づくり	単著	2023年6月	講談社		pp. 1-229
24	青木和人	はじめての地理院地図	単著	2023年9月	古今書院		pp. 1-68
25	石原凌河	災害復興学事典	共著	2023年9月	朝倉書店	日本災害復興学会編	pp. 196~199
26	大邑潤三	地震被害のマルチスケール要因分析	単著	2024年2月	小さ子社		
27	植村善博	日本禹王事典	共著	2023年4月	古今書院	関口康弘・大邑潤三	pp. 1~343
28	中野元太	災害復興学事典 5-5 防災教育／復興教育	共著	2023年9月	朝倉書店	日本災害復興学会編	pp. 188~191
29	山本由美子	Rural community response to a resort development project	共著	2023年12月	Routledge Everyday life-environmentalism - community sustainability and resilience in Asia	Daisaku Yamamoto	pp. 74~87

2. 論文

No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1.	青柳憲昌	「亀岡市旧城下町地区における浄土宗寺院(仏堂)の建築的特徴」村岡勇気・青柳憲昌、『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』2023年6月、	共著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』	村岡勇気・青柳憲昌	pp. 349-352	有
2.	青柳憲昌	「亀岡市旧城下町地区における町会議所および鉢藏の建築的特徴」北村奈都樹・青柳憲昌、『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年9月、(日本建築学会大会、京都大学)	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	北村奈都樹・青柳憲昌	pp. 363-364	有

3.	阿部俊彦	次の時代に向けた計画論・空間論・事業論 (特集:新しいアーバンズムによる現場とまちづくりの将来像)	単著	2023年5月	一般社団法人 住宅生産振興財団家とまちなみ (87)	阿部俊彦	P16-19	無
4.	阿部俊彦	内湾地区の防潮堤×建築×ランドスケープによる復興デザイン (特集:都市空間の再構築と都市デザイン)	単著	2023年5月	新都市	阿部俊彦	P85-90	
5.	阿部俊彦	歴史的な港町における防潮堤整備計画を伴う防災まちづくりの協議手法の開発	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集 17	阿部俊彦、他3名	P91-98	有
6.	伊藤真一	文化財周辺の斜面災害復旧における植生回復過程に対する可視光画像解析による観測・評価システムの開発に向けた一考察	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集 17	昌本拓也, 酒匂一成, 伊藤真一	pp. 77-84	有
7.	伊藤真一	Consideration of the methods determining a characteristics length of concept model using the new parameter Drmv for volcanic sandy soil	共著	2023年8月	Smart Geotechnics for Smart Societies	Ryosuke Nakajima, Kazunari Sako, Shinichi Ito, Ryosuke Kitamura	pp. 300-304	
8.	伊藤真一	Comparison of soil water characteristic curves estimated using data assimilation and water retention tests	共著	2023年8月	Smart Geotechnics for Smart Societies	Shinichi Ito, Kazunari Sako, Tsukasa Morita	pp. 1157-1161	
9.	伊藤真一	可視光画像解析と室内侵食実験による地表流に対する草本植生の法面保護効果に関する検討	共著	2023年11月	環境地盤工学シンポジウム発表論文集 15	昌本拓也, 岩永蓮太郎, 酒匂一成, 伊藤真一	pp. 390-396	有
10.	伊藤真一	可視光画像解析と室内侵食実験による草本植生の法面保護効果に関する検討-構成土粒子の粒径に対する一考察-	共著	2023年11月	Proceedings of the Kansai Geo-Symposium 2023 地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム論文集	昌本拓也, 岩永蓮太郎, 酒匂一成, 伊藤真一	pp. 97-102	有
11.	伊藤真一	Physics-Informed Neural Networks による不飽和浸透特性パラメータの逆解析	共著	2023年11月	AI・データサイエンス論文集 4 (3)	福永竜世, 伊藤真一, 酒匂一成	pp. 100-108	有
12.	伊藤真一	Deep learning-based soil compaction monitoring: A proof-of-concept study	共著	2024年2月	Journal of Terramechanics 111	Shota Teramoto, Shinichi Ito, Taizo Kobayashi	pp. 65-72	有
13.	大窪健之	Simulating the Disaster Imagination Game (DIG) and Developing the Application in the Firuzaga Neighborhood, Istanbul - A Workshop with Local Volunteers	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集 17	Tomoko Kano, Telat Aydın, Dowon Kim, Takeyuki Okubo, Meltan Vatan, Ebru Omay Polat, Ai Kubota, Zeynep Gü Ünal, Masayoshi Ito and Junichi Kawamura	pp. 61-68	有
14.	大窪健之	社寺の拠点化によるマンション等在宅避難者への支援の可能性 ~京都市上京区を例と	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集 17	大窪健之, 松田明大, 金度原	pp. 105-112	有

		して～						
15.	大窪健之	日常利用を考慮した高機能型市民消火栓の評価と改良-デザインと利用方法に関するユーザー調査を通して-	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集 17	金度源, 谷口有里香, <u>大窪健之</u>	pp. 121-128	有
16.	大窪健之	歴史的な仏教僧院における災害時の利活用 ネパールの歴史都市バタンにおける地域空間の防災拠点化に関する研究	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集 17	サキヤラタ, 白野裕之, 田川龍, <u>大窪健之</u> , 金度源	pp. 145-152	有
17.	大窪健之	Securing evacuation route with historical backyard In Izushi, Japan	共著	2023年9月	ICOMOS GA2023 Scientific Symposium	<u>Takeyuki Okubo</u> , Momoka Kawaguchi and Dowon Kim		
18.	大窪健之	A Risk Assessment of Utility Poles Removal on Historical Townscape in Kyoto	共著	2023年9月	ICOMOS GA2023 Scientific Symposium	Dowon Kim, Kazumasa Okamoto and <u>Takeyuki Okubo</u>		
19.	大窪健之	隣接する町家の類焼可能性に関する研究 -木造密集市街地における京町家の隣棟間隔に着目して-	共著	2023年12月	日本建築学会第18回住宅系研究報告会	竹内理登, <u>大窪健之</u> , 金度源	P219-228	有
20.	大窪健之	Designing a Mobile Application to Raise Children's Awareness of Disaster Management	共同	2023年7月	歴史都市防災論文集(報告) vol.17,	Ai Kubota, Tomoko Kano, Telat Aydın, Dowon Kim, <u>Takeyuki Okubo</u> , Junichi Kawamura, Meltem Vatan, Ebru Omay Polat, Masayoshi Ito	pp. 185-188	無
21.	大窪健之	重要伝統的建造物群保存地区における防災計画の策定効果と課題 -全国自治体への現況調査を通して-	共同	2023年7月	歴史都市防災論文集(報告), vol. 17,	金度源, 山根雅也, <u>大窪健之</u>	pp. 251-258	無
22.	大窪健之	伝統的な平入の町家群における類焼特性に関する研究	共同	2023年7月	歴史都市防災論文集(報告), vol. 17,	遠藤裕太郎, <u>大窪健之</u> , 金度源	pp. 259-266	無
23.	大場修	亀岡市旧城下町地区の防災・減災提案に向けた空き家と空地に関する研究	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所『歴史都市防災論文集』Vol. 17	木村智, 米田恵規, 清水優真, 大場修	pp. 99-104	有
24.	大場修	京都における公共路地の評価要因に関する考察と防災力向上のためのケーススタディー	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所『歴史都市防災論文集』Vol. 17	平尾和洋, 西岡里美, 大場修	pp. 113-120	有
25.	大場修	亀岡駅南城下町地区の町並修景と防火力向上に向けた予備的考察	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所『歴史都市防災論文集』Vol. 17	大場修, 平尾和洋, 藤木大真	pp. 245-250	無
26.	大場修	民家の付属屋配置と規模に関する定量的考察-岩手・宮城・群馬・鳥取各県農家と併列型・二棟系の配置図を用いた分析-	共著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第63号・計画系	平尾和洋, 大場修	pp. 149-152	有
27.	大場修	民家の屋敷構え・付属屋配置とクラ方位に関する定量的考察	共著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第	本田暁彦, 上田圭太郎, 平尾和	pp. 153-156	有

		- 1960年代緊急民家調査の配置図を用いた分析-			63号・計画系	洋, 大場修		
28.	大場修	亀岡駅南城南下町地区の町並み修理修景方針と防火力向上に向けた予備的考察	共著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第63号・計画系	大場修, 藤木大真, 平尾和洋	pp. 250-253	有
29.	大場修	京町家カルテールカルテが再発見した京町家の多様な世界-	共著	2023年9月	『資料民家研究の新視点_2023 大会PD 資料』2023年度日本建築学会大会(近畿)建築歴史・意匠部門パネルディスカッション(2)	三浦要一, 大場修, 平山育男, 中村琢巳, 大野敏, 中尾七重, 山田由香里	pp. 11-19	有
30.	大場修	亀岡駅南城南下町地区の町並み修理修景方針と防火力向上に向けた予備的考察その1	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年度日本建築学会大会(近畿)	宮澤楠子, 藤木大真, 大場修, 平尾和洋	pp. 1037-1038	有
31.	大場修	亀岡駅南城南下町地区の町並み修理修景方針と防火力向上に向けた予備的考察その2	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年度日本建築学会大会(近畿)	木村愛美, 藤木大真, 大場修, 平尾和洋	pp. 1039-1040	有
32.	大場修	民家の屋敷構え・付属屋配置とクラ方位に関する定量的考察その1 - 1960年代緊急民家調査の配置図を用いた分析-	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年度日本建築学会大会(近畿)	渡部祐輝, 上田圭太郎, 平尾和洋, 大場修	pp. 29-30	有
33.	大場修	民家の屋敷構え・付属屋配置とクラ方位に関する定量的考察その2 - 1960年代緊急民家調査の配置図を用いた分析-	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年度日本建築学会大会(近畿)	潮田龍諒, 上田圭太郎, 平尾和洋, 大場修	pp. 31-32	有
34.	大場修	和歌山市雑賀崎におけるコンクリート造民家の普及過程 紀伊半島の漁村・海付集落に関する史的研究 その8	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年度日本建築学会大会(近畿)	吉川晴夫, 松田法子, 大場修	pp. 67-68	有
35.	大場修	和歌山市雑賀崎におけるコンクリート造民家の発生と「コンクリート巻き」住宅 紀伊半島の漁村・海付集落に関する史的研究 その9	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年度日本建築学会大会(近畿)	大場修, 松田法子, 吉川晴夫, 京谷友也	pp. 68-69	有
36.	大場修	和歌山市雑賀崎におけるコンクリート造民家の建設動機と実現の要因 紀伊半島の漁村・海付集落に関する 史的研究 その10	共著	2023年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』2023年度日本建築学会大会(近畿)	松田法子, 吉川晴夫, 大場修	pp. 70-71	有
37.	岡井有佳	竹原重要伝統的建造物群保存地区における水害対策に関する研究	共著	2023年7月	立命館大学 歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 17	水野真希・岡井有佳・馬場美智子	pp. 85-90	有
38.	岡井有佳	木造密集市街地における消防活動に着目した無電柱化事業の減災効果に関する分析	共著	2023年10月	土木学会土木学会論文集 79 (10)	馬場美智子・岡井有佳・小原雅人		有
39.	岡井有佳	集約型都市構造構築に向けた広域マスタープランの運用が立地適正化計画に与える効果と課題に関する研究	共著	2023年10月	日本都市計画学会日本都市計画学会都市計画論文集 58 (3)	吉田隼斗・岡井有佳	pp. 616-623	有
40.	岡井有佳	エアーマネジメントの視点から見た公開空地の占用基準に関する研究	共著	2023年10月	日本都市計画学会日本都市計画学会都市計画論文集 58 (3)	川野裕司・岡井有佳	pp. 1250-1257	有
41.	岡井有佳	公共施設等総合管理計画の改訂と公共施設再編にかかる各種戦略の展開の関係	共著	2024年2月	日本建築学会日本建築学会技術報告集 30 (74)	瀬田史彦・上森貞行・岡井有佳・近藤早映・藤井秀明・吉村輝彦	pp. 399-403	無
42.	岡田篤正	1:25,000 活断層図一国土地理院活断層図「師崎」	共著	2023年9月	国土地理院	鈴木康弘・石山達也	大版地図	無
43.	小川圭一	歴史都市における道路形成順序が道路構造と交通事故発生状況に及ぼす影響に関する分析	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集, Vol. 17	小川圭一, 溝口万里江	pp. 137-144	有

44.	小川圭一	観光資源としての文化遺産の評価における交通時間価値の評価方法の影響に関する研究	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集, Vol.17	小川圭一, 森祐輔	pp. 153-160	有
45.	小川圭一	交差点構造と交通事故発生状況に対する道路形成順序の影響に関する研究	共著	2023年8月	第43回交通工学研究発表会論文集	小川圭一, 溝口万里江	pp. 41-47	有
46.	鐘ヶ江秀彦	「新型コロナウイルスのパンデミック前の21世紀初頭のシミュレーション&ゲーミング学会の国際展開についてのDebriefing」	単著	2024年3月	公益財団法人 科学技術融合振興財団 30周年記念論文集	鐘ヶ江秀彦		有
47.	川崎佑磨	Evaluation of the fracture behaviour of concrete prisms reinforced with regular and high-strength steel rebars using acoustic emission technique		2023年	Construction and Building Materials 402 (26)	Krishnaa. S, Chetharaju palli Veerendar, Su riya Prakash. S, Yuma Kawasaki		有
48.	川崎佑磨	Fracture Analysis of Short-Scale Corroded/Healthy Reinforced Concrete Beams under Bending Using Acoustic Emission		2023年	Materials 16 (21)	Mouhamadou Mountakhah Seye, Yuma Kawasaki, Eja zulhaq Rahimi		有
49.	川崎佑磨	空練りによるブロック形成が高強度コンクリートのスランブフローに与える影響	共著	2023年7月	コンクリート工学年次論文集 45 (1)	坂本恭裕, 川崎佑磨, 福山智子, 金侖美	pp. 826-831	有
50.	川崎佑磨	再振動締固めの最適な時期に関する AE法に基づいた圧縮破壊メカニズムの考察	共著	2023年7月	コンクリート工学年次論文集 45 (1)	吉岡優志郎, 川崎佑磨, 山田悠二, 清水駿太郎	pp. 352-357	有
51.	川崎佑磨	実橋梁に設置した小型 IoT センサで検出した画像とひずみによる構造ヘルスマニタリング	共著	2023年9月	土木学会論文集特集号 (地震工学) 79 (13)	川崎佑磨, 井上和真, 大川原大智, 小西優真, 山元沙貴, 木暮悠暁, 浅見健斗		有
52.	河角直美	戦後沖繩における「スクラップ・ブーム」とその影響: 人的被害のひろがりに着目して	共著	2023年6月	立命館文學 (684)	加藤政洋・前田一馬・河角直美・常本亮太	pp. 55-76	
53.	金度源	Study for Improvement of Evacuation Safety of Cul-de-sacs Roads in Historic Streets - A Study on the Installation of Emergency Evacuation Doors in Kamigyō-ward, Kyoto Japan -	共著	2023年5月	XXI International Forum 'Le Vie dei Mercanti' WORLD HERITAGE and DWELLING ON EARTH	Takeyuki Okubo, Yuki Nagasawa, <u>Down Kim</u>	pp. 228-238	
54.	金度源	伝統的な平入の町家群における類焼特性に関する研究	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 17	遠藤裕太郎, 大窪健之, <u>金度源</u>	pp. 259-266	無
55.	金度源	重要伝統的建造物群保存地区における防災計画の策定効果と課題: 全国自治体への現況調査を通して	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 17	<u>金度源</u> , 山根雅也, 大窪健之	pp. 251-258	無
56.	金度源	社寺の拠点化によるマンション等在宅避難者への支援の可能性: 京都市上京区を例として	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 17	大窪健之, 松田明大, <u>金度源</u>	pp. 105-112	有
57.	金度源	日常利用を考慮した高機能型市民消火栓の評価と改良: デザインと利用方法に関するユーザー調査を通して	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所 17	<u>金度源</u> , 谷口有里香, 大窪健之	pp. 121-128	有

58.	金度源	歴史的な仏教僧院における災害時の利活用：ネパールの歴史都市パタンにおける地域空間の防災拠点化に関する研究	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 17	サキヤラタ、白野裕之、田川龍、大窪健之、 <u>金度源</u>	pp. 145-152	有
59.	金度源	三重県多気郡大台町における生物圏保存地域内の自然資源利用を目標とする観光まちづくりの現状評価	共著	2023年9月	公益社団法人 日本都市計画学会都市計画報告集 22 (2)	篠岡果、 <u>金度源</u> 、大窪健之	pp. 392-339	有
60.	金度源	A Risk Assessment of Utility Poles Removal on Historical Townscape in Kyoto	共著	2023年9月	ICOMOS GA2023 Scientific Symposium	<u>Down Kim</u> , Kazumasa Okamoto and Takeyuki Okubo		
61.	金度源	Securing evacuation route with historical backyard In Izushi, Japan	共著	2023年9月	ICOMOS GA2023 Scientific Symposium	Takeyuki Okubo, Momoka Kawaguchi and <u>Down Kim</u>		
62.	金度源	コミュニティ形成に資する市民活動団体構成員の活動タイプと公園に求める要素の関連性-草津川跡地公園での市民活動促進に関するヒアリング調査-	共著	2023年10月	公益社団法人 日本都市計画学会都市計画論文集 58 (3)	松原美咲、 <u>金度源</u> 、大窪健之	pp. 592-599	有
63.	金度源	祭りの行程への参加と地域愛着・世代間交流との関係性-岐阜県飛騨市古川町の古川祭を対象として-	共著	2023年10月	公益社団法人 日本都市計画学会都市計画論文集 58 (3)	森島明日香、 <u>金度源</u> 、大窪健之	pp. 632-639	有
64.	木村智	ピエール・ルイジ・ネルヴィによる帝国のアーチにおける構法的検討	単著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第63号・計画系	<u>木村智</u>	pp. 381-383	有
65.	木村智	徳島県鳴門市大道銀天街における低未利用地活用に向けたヒアリング調査と店舗の変遷分析	共著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第63号・計画系	澤倫太・前川真徳・ <u>木村智</u>	pp. 229-232	有
66.	木村智	亀岡市旧城下町地区の防災・減災提案に向けた空き家に関する研究	共著	2023年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集』第63号・計画系	清水優真・米田恵規・ <u>木村智</u> ・大場修	pp. 177-180	有
67.	木村智	亀岡市旧城下町地区の防災・減災提案に向けた空き家と空地に関する研究	共著	2023年7月	立命館大学歴史都市防災研究所『歴史都市防災論文集 Vol.17』	<u>木村智</u> ・米田恵規・清水優真・大場修	pp. 99-104	有
68.	里深好文	透過性を有するブロック積砂防堰堤の捕捉機能に関する基礎的な研究	共著	2023年7月	砂防学会誌 76 (2)	原田紹臣・藤本将光・中村達也・里深好文・水山高久	pp. 11-18	有
69.	里深好文	デジタル技術 (DX) 活用による効率的な砂防関係施設の維持管理に求められる評価手法拡充の提案	共著	2023年7月	砂防学会誌 76 (3)	原田紹臣・藤本将光・里深好文・水山高久・松井 保	pp. 34-41	有
70.	里深好文	土石流・洪水流複合氾濫時の避難目的地までの移動安全性に関する検証	共著	2023年10月	自然災害科学 42 (特別)	和田孝志・丸堂真輝・廣地星大・三輪浩・里深好文	pp. 121-138	有
71.	Telat AYDIN	Simulating the Disaster Imagination Game (DIG) and Developing the Application in the Firuzaga Neighborhood, Istanbul - A	共著	2023年7月	立命館大学歴史都市防災研究所、『歴史都市防災論文集』、Vol.17	狩野朋子、大窪健之、 <u>金度源</u> 、伊藤真恵、久保田愛、Meltem VATAN、Ebru	pp. 61 ~ 68	有

		Workshop with Local Volunteers				OMAY POLAT 他		
72.	Telat AYDIN	Designing a Mobile Application to Raise Children's Awareness of Disaster Management	共著	2023年7月	立命館大学歴史都市防災研究所、『歴史都市防災論文集』、Vol.17	久保田愛、大窪健之、金度源、伊藤真恵、狩野朋子、川村順一他	pp.185～188	無
73.	豊田祐輔	Extracting Local Disaster Knowledge through Gamification in a Flood Management Model Community in Thailand	共著	2023年12月	Elsevier, Progress in Disaster Science (Elsevier) 20	Toyoda Yusuke and Tanwattana Puntitana	100294	有
74.	花岡和聖	小規模外国人集団へのヘテロローカリズム論の適用可能性に関する検討 -アフガニスタン人・ラオス人・ボリビア人の事例-	共著	2023年9月	愛知学院大学人間文化研究所紀要 38	竹下修子・花岡和聖・石川義孝	pp.83-104	有
75.	平尾和洋	亀岡駅南城下町地区の町並風景と防火力向上に向けた予備的考察	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集 vol.17	大場修,平尾和洋, 藤本大真	pp.245-250	無
76.	平尾和洋	京都における公共路地の評価要因に関する考察と防災力向上のためのケーススタディー	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集 vol.17	平尾和洋,西岡里美	pp.113-120	有
77.	深川良一	浮き上がり限界モーメントを超える場合の2方向偏心作用における剛体基礎の接地圧分布簡便計算法の提案	共著	2023年11月	地盤工学会関西支部 関西ジオシンポジウム 2023 論文集	◎植田謙三、深川良一	P.6	有
78.	福水洋平	Noise Reduction Method based on Wavelet Decomposition for Real-time Processing of Biological Sound Separation for Disease Precaution System	共著	2024年3月	Proc. 2024 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing	Sougo Miura, Yosuke Nakamura, Hiroto Nakashima, and Yohei Fukumizu	to appear	
79.	福山智子	Quality of Lamination Structure Made by 3D Printing under Different Lamination Conditions	共著	2023年7月	Proceedings of BEI-2023	Yuji Yamada, Tomoko Fukuyama, Yunmi Kim, Hiroharu Kamada, Dhruva N. Katpady	pp.35-38	有
80.	藤本将光	メタバースを活用したハザード・マップの高度化に向けた実践的取り組み～iHazard map project～	共著	2023年5月	AI データサイエンス論文集, 4巻2号	原田 紹臣, 藤本 将光, 里深好文, 水山 高久, 松井保, 武井 千雅子	pp.102-113	有
81.	藤本将光	土壌構造発達が森林斜面の降雨浸透と斜面安定性に及ぼす影響の数値解析	共著	2023年5月	砂防学会誌 第76巻第1号	林 祐紀, 小杉賢一朗, 藤本将光, 水山高久	pp.3-10	有
82.	藤本将光	透過性を有するブロック積砂防堰堤の捕捉機能に関する基礎的な研究	共著	2023年7月	砂防学会誌 第76巻第2号	原田紹臣, 藤本将光, 中村達也, 里深好文, 水山高久	pp.11-18	有
83.	藤本将光	デジタル技術 (DX) 活用による効率的な砂防関係施設の維持管理に求められる評価手法拡充の提案	共著	2023年9月	砂防学会誌 第76巻第3号	原田紹臣, 藤本将光, 里深好文, 水山高久, 松井保	34-41	有
84.	藤本将光	Impact of Displacement Behavior and Groundwater	共著	2023年11月	The13th international	Xin Qin, Masamitsu		

		Level Change on Slope Failure Intitiation Due To Rainfall			conference on geotechnique, Construction Materias & Environment	Fujimoto and Yoshifumi Fukasato		
85.	藤本将光	斜面内体積含水率の推定結果に対するタンクモデル構造の影響についての考察	共著	2023年11月	Kansai Geo-Symposium 2023 論文集	阪谷天晴, 宮崎祐輔, 小山 倫史, 藤原照幸, 藤本将光, 岸田潔	pp. 45-50	有
86.	藤本将光	ブロック積み砂防堰堤の機能性に関する実験的検討	共著	2023年11月	Kansai Geo-Symposium 2023 論文集	中村達也, 藤本将光, 原田紹臣, 佐藤哲也, 橋口聡太郎, 神野忠広, 里深好文	pp. 87-91	有
87.	藤本将光	細粒土砂を含む土石流と掃流状集合流動の堆積に関する実験的研究	共著	2023年11月	Kansai Geo-Symposium 2023 論文集	榊原颯輝, 藤本将光, 里深好文	pp. 208-213	有
88.	藤本将光	盛土における網状鉄筋挿入工による圧縮補強効果の高度化に関する基礎的な実験	共著	2023年11月	Kansai Geo-Symposium 2023 論文集	原田紹臣, 疋田信晴, 小西成治, 藤本将光	pp. 226-231	無
89.	本間睦朗	電力供給面での京都市田の字地区のスマートシティ化に関する取組-日射量シミュレーションと太陽光パネルの発電量の推定-	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集 17	福本真史, 本間睦朗	pp. 161-168	有
90.	本間睦朗	夜間景観における「京都らしさ」の定量化の検討	単著	2023年7月	歴史都市防災論文集 17	本間睦朗	pp. 55-60	有
91.	村中亮夫	身近な地域の災害文化-地理教育における活用の視点-	単著	2023年4月	地歴・公民科資料 ChiReKo (2023年 1学期号)	村中亮夫	pp. 8-11	
92.	持田泰秀	伝統木造建築の修繕工事に関する研究-多様な継手加工と応急処理修繕材料の活用への提案-	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 Vol. 17	猪口朝加, 持田泰秀	pp. 1-8	有
93.	持田泰秀	ポリウレタ塗装による木部材の構造性能向上に関する実験的研究	共著	2023年11月	第15回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム講演集	持田泰秀, 小原愛美	pp. 18-25	有
94.	矢野桂司	京都の歴史を GIS で読む	単著	2023年5月	地図情報 165		pp. 8-12	
95.	矢野桂司	日本学術会議による地名問題の取り組み	共著	2023年11月	古今書院地理 68 (11)	高木彰彦・矢野桂司	pp. 12-21	
96.	矢野桂司	ジオデモグラフィクスからみた将来空き家の都市圏比較	共著	2023年11月	都市計画論文集 58 (2)	上杉昌也, 上村要司, 矢野桂司	pp. 153-160	有
97.	矢野桂司	第31回国際地図学会議・第19回国際地図学協会総会(南アフリカ共和国・ケープタウン市)参加報告	共著	2023年11月	デジタルアーカイブ学会誌 7 (S2)	北本朝展, 高橋彰, 矢野桂司, 佐藤弘隆, 河角直美, 西村陽子	pp. 130-133	有
98.	矢野桂司	[C21] メモリーグラフ: 同一構図撮影を支援するカメラアプリによるフィールドワークの展開	共著	2024年1月	地図 64 (1)	伊藤香織ほか7名	pp. 130-133	
99.	山田悟史	TACTICAL REDUCTION OF BRIDGES: IMPACT OF A COST REDUCTION PLAN ON RESIDENTS' TRAVEL TIME	共著		IRSPSD International International Review for Spatial Planning and Sustainable Developm IRSPSD International	Nozomi Araki, Satoshi Yamada, Tatsuya Sekiguchi	掲載定段階	
100.	山田悟史	文化財保全のための教材および支援システムの開発に関する研究	共著	2023年7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 17	荒井勇哉 山田悟	pp. 169-176	有

						史		
101.	山田悟史	樹木配置条件による緑視率期待値の図化および数式化- GPGPUを援用したモンテカルロシミュレーションに基づく樹木配置計画指標の作成-	共著	2023年9月	日本建築学会日本建築学会計画系論文集 88 (811)	藤井健史, 山田悟史	pp. 2636-2642	有
102.	山田悟史	ラダリング法を参考にしたワークショップにおける意見相互の参照関係の把握-ネットワークグラフを応用した分析方法の提案-	共著	2024年2月	日本建築学会日本建築学会計画系論文集 89 (816)	寶珍宏元, 山田悟史, 武田史朗	掲載決定段階	有
103.	吉富信太	曲線部材で構成されたユニット耐力壁の性能指定設計手法	共著	2023年5月	日本建築学会, 構造系論文集, No. 807	北地水砂騎, 嶋田陽大, 吉富信太	pp. 768-775	有
104.	吉富信太	伝統的な木造軸組の制震ダンパー補強効果に関する検証実験	共著	2023年7月	立命館大学歴史都市防災研究所, 歴史都市防災論文集, 第17巻	中治弘行, 須田達, 吉富信太, 鈴木祥之, 閻崇兵	pp. 31-38	有
105.	吉富信太	京町家の連棟間の接触部分が地震時応答に及ぼす影響に関する検討	共著	2023年7月	立命館大学歴史都市防災研究所, 歴史都市防災論文集, 第17巻	井上斐文, 吉富信太	pp. 47-54	有
106.	SHAKYA Lata	歴史的な仏教僧院における災害時の利活用-ネパールの歴史都市パタンにおける地域空間の防災拠点化に関する研究	共著	2023年7月	歴史都市防災研究所 歴史都市防災論文集 Vol.17 (17)	サキヤ ラタ・白野裕之・田川龍・大窪健之・金度源	pp. 241-248	有
107.	宮崎彩	国際的な文化遺産防災研修の変遷について	単著	2023年7月	立命館大学衣笠総合研究機構歴史都市防災研究所 歴史都市防災論文集 17		P69-76	有
108.	宮崎彩	安全安心マップ作成を通じた子どもの防災・安全教育の実践 一第17回 みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト事業報告一	共著	2024年2月	立命館大学衣笠総合研究機構歴史都市防災研究所 京都歴史災害研究 (25)	宮崎彩, 李敏, 花岡和聖, 村中亮夫	P23-34	有
109.	李敏	A Fire Prevention Measure for Disaster Prevention Planning Based on Resident Conditions and Community Characteristics in Preserved Historic Districts/Village in Japan	共著	2023年11月	International Journal of Architectural Heritage	Min Li, Yuji Hasemi, Wakako Tanaka, Yuna Nozoe, Minori Nagasawa	doi.org/10.1080/15583058.2023.2276177	
110.	李敏	Proceedings of the UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management: International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage, Ritsumeikan University in collaboration with ICCROM	共編者 (共編著者)	2024年2月	立命館大学衣笠研究機構歴史都市防災研究所			
111.	林祐妃	土壌構造発達が森林斜面の降雨浸透と斜面安定性に及ぼす影響の数値解析	共著	2023年5月	砂防学会誌	林祐妃・小杉賢一朗・藤本将光・水山高久	p. 3-10	有
112.	青木和人	国土数値情報を活用するRパッケージ geo.jp の開発 一福祉施設の立地分析をケーススタディとして一	共著	2023年12月	GIS -理論と応用- vol.31 No.2, pp.19-26, 31(2) 19-26	馬場美彦,	pp. 19-26	有
113.	石田優子	熊野古道「伊勢路」における土砂災害ハザードマップのための基礎調査	単著	2024年3月	近畿大学工業高等専門学校, 研究紀要, 第17号		pp. 67 ~ 75	無
114.	石原凌河	復興計画の不変と可変	単著	2024年3月	龍谷政策学論集第13巻2号		pp. 11-20	無

115.	石原凌河	市町村地震ハザードマップの統一性と整合性に関する研究	共著	2023年11月	地域安全学会論文集第43号	香出海人	pp. 237-245	有
116.	石原凌河	デジタルテクノロジーが散歩に与える影響	共著	2023年8月	滋賀大学環境総合研究センター研究年報第20号1巻	近藤紀章, 笹尾和宏, 竹岡寛文, 中野優, 松本邦彦	pp. 11-20	無
117.	伊藤真恵	Simulating the Disaster Imagination Game (DIG) and Developing the Application in the Firuzaga Neighborhood, Istanbul - A Workshop with Local Volunteers	共著	2023年7月	立命館大学歴史都市防災研究所、『歴史都市防災論文集』、Vol.17	狩野朋子、大窪健之、金度源、久保田愛、Telat AYDIN、Meltem VATAN、Ebrur Omay Polat 他	pp.61 ~ 68	有
118.	伊藤真恵	Designing a Mobile Application to Raise Children's Awareness of Disaster Management	共著	2023年7月	立命館大学歴史都市防災研究所、『歴史都市防災論文集』、Vol.17	久保田愛、大窪健之、金度源、Telat AYDIN、狩野朋子、川村順一他	pp.185 ~ 188	無
119.	岩本葉子	京都における社寺地処分	単著	2023年10月	都市史学会。都市史研究、10号		pp.20 ~ 39	有
120.	植村善博	和東町の地形と自然景観の特徴	単著	2023年7月	和東町、『和東の茶業景観』、387p	多数	pp.8~29	無
121.	大邑 潤三,	新たな史料で判明した1854年安政東海地震における甲府盆地の震度	共著	2024年2月	地学雑誌 133(1) 1-21	加納 靖之		有
122.	小野聡	因果ダイアグラムの作成とシミュレーションに基づく雪害適応策シナリオプランニング	共著	2023年12月	『環境情報科学術研究論文集』、37、pp.134-141	木村道徳	8	査読有
123.	桐村 喬	空中写真に基づく都市のDSMの時空間的な分析手法の開発	単著	2023年10月	地理情報システム学会、地理情報システム学会講演論文集、32巻			無
124.	桐村 喬	高等学校地理総合・地理探究におけるGISを活用した授業の提案—MeshDataView3Dの活用—	単著	2024年3月	京都産業大学教職課程教育センター、京都産業大学教職研究紀要、19巻		pp.31 ~ 41	無
125.	桐村 喬	高等学校地理総合・地理探究におけるGISを活用した授業の提案—MeshDataView3Dの活用—	単著	2024年3月	京都産業大学教職課程教育センター、京都産業大学教職研究紀要、19巻		pp.31 ~ 41	無
126.	佐藤貴史	ユダヤ教の起源と発展を求めて—アブラハム・ガイガーのユダヤ学	単著	2024年3月	北海学園大学人文学部、『北海学園大学人文論集』、第76号		pp.29 ~ 45	無
127.	壽崎かすみ	指定避難所での同行避難者受け入れ円滑化にむけて`大阪・兵庫の犬や猫を飼育しない住民への調査結果から	単著	2023年11月	地域安全学会論文集 No.43		265-273	有
128.	鈴木祥之	伝統的な木造軸組の制震ダンパー補強効果に関する検証実験	共著	2023年7月	歴史都市防災論文集、巻17	中治弘行、須田達、吉富信太、閻崇兵	pp.31-38	有
129.	鈴木祥之	伝統木造試験体の振動台実験に基づく制震ダンパー補強による応答低減効果	共著	2023年7月	日本建築学会北陸支部研究報告集、第66号	須田 達、中治弘行、吉富信太、閻 崇兵	pp.73-76	無
130.	鈴木祥之	伝統的な木造軸組の制震ダンパー補強に関する実験研究	共著	2023年7月	日本建築学会学術講演梗概集、構造III	中治弘行、須田達、吉富信太、閻崇兵	pp.191-192	無
131.	高橋彰	景観写真のデジタルアーカイブの構築と地域学習への応用	単著	2023年7月	愛知大学三遠南信地域連携研究センター紀要9		pp.62-65	無
132.	高橋彰	[C21] メモリーグラフ：同一構図撮影を支援するカメラアプリ	共著	2023年11月	デジタルアーカイブ学会誌 7(s2)	北本 朝展、高橋 彰、矢野 桂	pp.s130-s133	無

		によるフィールドワークの展開				司, 佐藤 弘隆, 河角 直美, 西 村 陽子		
133.	中野元太	ハードルを下げた/上げた避難 訓練—現実的な有効性を向上さ せるための工夫—	共著	2023年8月	地区防災計画学会誌, Vol. 27	矢守克也・中野 元太・杉山高志 ・岡田夏美	pp. 34~ 43.	有
134.	中野元太	防災教育コンテンツと教育法の 「開発」と「選択」、「配列」にお ける防災教育支援事業の役割に ついての考察—防災教育チャ レンジプランと 1.17 防災未来 賞ぼうさい甲子園の実践から—	共著	2023年9月	防災教育学研究, Vol. 4(1)	諏訪清二・船木 伸江・中野元太	pp. 89 ~ 100	有
135.	中野元太	活動理論に見るネパール教員の 防災教育(活動)の変化	共著	2023年9月	防災教育学研究, Vol. 4(1)	中野元太・矢守 克也・諏訪清二・ ゴータムアパラ ジータ	pp. 1 ~ 11.	有
136.	中野元太	インターローカルな防災教育の 展開	共著	2024年1月	質的心理学研究, 第23 号臨時特集	中野元太・矢守 克也・岡田夏美・ 杉山高志	pp. S39 ~ S45	有
137.	中野元太	Cultural tuning of a disaster education tool: A comparative study of Japan, El Salvador, and Mexico	共著	2024年3月	International Journal of Disaster Risk Reduction	Genta Nakano, Katsuya Yamori	104320	有
138.	中野元太	Theoretical and practical considerations in the creation of a disaster risk reduction educational strategy at the primary education level: A case study of Mexico city	共著	2024年3月	International Journal of Disaster Risk Reduction	Garibay Rubio Carlos Rodrigo, Yamori Katsuya, Nakano Genta, Marín Cambranis Rafael Humberto, Ortiz Torres Jorge Antonio, Ávila Zepeda Ana Paola, Sagahon Aguilar Sergio, Franco Rodríguez René Mario, Peralta Gutiérrez Astrid Renneé	104320	有
139.	藤井健史	自然監視と防犯カメラの監視と 抑止の範囲の可視化に基づく歴 史的街路の防犯評価手法に關す る研究—大阪府箕面市を対象と して—	共著	2023年7月	立命館大学歴史都市防 災研究所, 歴史都市防 災論文集, vol. 17	阪口元貴, 宗本 晋作	pp. 129- 136	有
140.	藤井健史	樹木配置条件による緑視率期待 値の図化および数式化	共著	2023年9月	日本建築学会, 計画系 論文集, 88 卷 811 号	山田悟史	pp. 2636- 2642	有
141.	前田一馬	戦後沖縄における「スクラップ・ ブーム」とその影響—人的被害 のひろがりに着目して—	共著	2023年6月	立命館大学人文学会立 命館文學 684 号	加藤政洋・河角 直美・常本亮 太	55-76 頁	なし
142.	米島万有子	人と蚊との接触機会における季 節消長の空間解析	共著	2023年10月	地理情報システム学会 講演論文集 32(Web)	桐村 喬, 埴淵 知哉, 駒形 修, 中谷友樹	pp. 1~8	無

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名

1	阿部俊彦	次の時代に向けた計画論・空間論・事業論 (特集:新しいアーバンイズムによる現場とまちづくりの将来像)	2023年5月	一般社団法人 住宅生産 振興財団家とまちなみ (87)	阿部俊彦
2	阿部俊彦	内湾地区の防潮堤×建築×ランドスケープによる復興デザイン (特集:都市空間の再構築と都市デザイン)	2023年5月	新都市	阿部俊彦
3	阿部俊彦	歴史的な港町における防潮堤整備計画を伴う防災まちづくりの協議手法の開発	2023年7月	歴史都市防災論文集 17	阿部俊彦、他3名
4	泉知論	設計手法の違いによる PWM 制御モジュールの比較	2023年9月	電子情報通信学会 2023年 ソサイエティ大会, A-6-2	竹中元弥, 泉知論
5	泉知論	指数関数計算の FPGA 高位合成向け記述法の検討	2023年9月	電子情報通信学会 2023年 ソサイエティ大会, A-6-3	岡村泰誠, 泉知論
6	伊藤真一	Physics-Informed Neural Networks を用いた次元圧密問題の数値実験	2023年7月	第58回地盤工学研究発表 会	伊藤真一
7	伊藤真一	保水・透水試験の計測データに基づく不飽和浸透特性の事後分布推定	2023年10月	JCOSSAR 2023	伊藤真一
8	伊藤真一	Application of Physics-Informed Neural Networks to geotechnical engineering	2023年12月	Future of Machine Learning in Geotechnics (FOMLIG)	Shinichi Ito
9	植村善博	太田陽子氏の地形研究とニュージーランド	2023年12月	ニュージーランド学会 創立30周年記念大会	
10	大窪健之	Designing a Mobile Application to Raise Children's Awareness of Disaster Management	2023年7月	歴史都市防災論文集(報告) vol.17, pp.185-188	Ai Kubota, Tomoko Kano, Telat Aydın, Downon Kim, Takeyuki Okubo, Junichi Kawamura, Meltem Vatan, Ebru Omay Polat, Masayoshi Ito
11	大窪健之	重要伝統的建造物群保存地区における防災計画の策定効果と課題 -全国自治体への現況調査を通して-	2023年7月	歴史都市防災論文集(報告), vol.17, pp.251-258	金度源, 山根雅也, 大窪健之
12	大窪健之	伝統的な平入の町家群における類焼特性に関する研究	2023年7月	歴史都市防災論文集(報告), vol.17, pp.259-266	遠藤裕太郎, 大窪健之, 金度源
13	大場修	京町家カルテ・カルテが再発見した京町家の多様な世界-	2023年9月	『資料民家研究の新視点』 2023年度日本建築学会大会(近畿) 建築歴史・意匠部門 パネルディスカッション②	三浦要一, 大場修, 平山育男, 中村琢己, 大野敏, 中尾七重, 山田由香里
14	岡井有佳	都市機能誘導区域への誘導施設の立地に関する研究	2023年7月	日本都市計画学会日本都市計画学会関西支部研究発表会	西川杏紗菜・岡井有佳・酒本恭聖
15	岡井有佳	空き地条例による空き地の利活用の推進に関する研究	2023年9月	2023年度日本建築学会大会	坂本賢矢・岡井有佳
16	岡井有佳	空き家流通の活性化に向けた自治体の取り組みに関する研究	2023年9月	2023年度日本建築学会大会	中西達也・岡井有佳
17	岡井有佳	エリアマネジメントによる公開空地の利活用に関する研究	2023年9月	2023年度日本建築学会大会	川野裕司・岡井有佳
18	岡井有佳	遊休不動産の利活用によるリノベーションまちづくりに関する研究	2023年9月	2023年度日本建築学会大会	分部颯太・岡井有佳
19	岡井有佳	都市公園の機能再編手法に関する研究	2023年9月	2023年度日本建築学会大会	水野真希・岡井有佳
20	小川圭一	歴史都市における道路形成順序が道路構造と交通事故発生状況に及ぼす影響に関する分析	2023年7月	第17回歴史都市防災シンポジウム	小川圭一, 溝口万里江
21	小川圭一	観光資源としての文化遺産の評価における交通時間価値の評価方法の影響に関する研究	2023年7月	第17回歴史都市防災シンポジウム	小川圭一, 森祐輔
22	小川圭一	交差点構造と交通事故発生状況に対する道路形成順序の影響に関する研究	2023年8月	第43回交通工学研究発表 会	小川圭一, 溝口万里江
23	小川圭一	交差点の道路形成順序が道路構造と交通事故発生状況に及ぼす影響に関する分析	2023年9月	土木学会第78回年次学術講演会	小川圭一, 溝口万里江
24	小川圭一	交差点の道路形成順序が道路構造と交通事故発生状況に及ぼす影響に関する分析	2023年12月	交通科学研究会令和5年度研究発表会	小川圭一, 溝口万里江

25	鐘ヶ江秀彦	「国際シミュレーション & ゲーミング学会世界大会の 2027 年の日本開催に向けての 1991 年・2003 年・2015 年開催の備忘録」	2023 年 11 月	2023 年度日本シミュレーション&ゲーミング学会秋期全国大会論文報告集秋号、江戸川大学	
26	河角直美	「那覇市の観光商店街「国際通り」の成立とその特色—1960 年代の店舗変化に着目して—」	2023 年 11 月	2023 年人文地理学会大会 (於：法政大学)	河角直美・加藤政洋・宇佐美智也・常本亮太・宮原佑成・前田一馬
28	神田孝治	観光学 3.0 とアッセンブリッジというレンズ	2023 年 7 月	観光学術学会第 12 回大会テーマセッション①観光学 3.0 へ向けて—ツーリズム・モビリティの再考から	神田孝治
29	木村智	ピエル・ルイジ・ネルヴィの帝国のアーチにおける古代ローマ建築解釈と構法的表現	2023 年 4 月	建築史学会大会研究発表会	木村智
30	木村智	ピエル・ルイジ・ネルヴィによる帝国のアーチにおける構法的検討	2023 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	木村智
31	木村智	ローマ万国博覧会の帝国のアーチにおけるリバース・エンジニアリング	2023 年 9 月	日本建築学会大会学術講演会	木村智・木村俊明・小見山陽介
32	木村智	同時代出版物に描写されたクリスタル・パレスの特性とその伝搬	2023 年 9 月	日本建築学会大会学術講演会	小見山陽介・木村俊明・木村智
33	木村智	クリスタル・パレスのリバース・エンジニアリング 平行弦トラスと短手骨組の分析	2023 年 9 月	日本建築学会大会学術講演会	岡本日向・木村俊明・小見山陽介・木村智
34	木村智	徳島県鳴門市大道銀天街における低未利用地活用に向けた変遷分析と提案	2023 年 9 月	日本建築学会大会学術講演会	村井瑞季・木村智・前川真穂・澤倫太
35	木村智	亀岡市旧城下町地区の防災・減災提案に向けた空き家と空地に関する研究	2023 年 9 月	日本建築学会大会学術講演会	清水優真・米田恵規・木村智・大場修
36	小林泰三	アクティブ音響センシングを用いた土質判別技術の概念実証	2023 年 7 月	第 58 回地盤工学研究発表会 (地盤工学会)	近藤一秀・濱荻晋太郎・小林泰三
37	桜井政成	サードプレイスの有無が孤独感・生活満足に与える影響	2023 年 7 月	第 21 回福祉社会学会大会	桜井政成
38	豊田祐輔	Gaming Simulation as a Tool for Disaster Risk Reduction and Disaster Education	2023 年 11 月	International Symposium on Emergency Management 2023 (ISEM 23)	Toyoda Yusuke
39	豊田祐輔	国際シミュレーション&ゲーミング学会世界大会の 2027 年の日本開催に向けての 1991 年・2003 年・2015 年開催の備忘録	2023 年 11 月	『日本シミュレーション&ゲーミング学会全国大会論文報告集 2023 年秋号』44-45 頁	鐘ヶ江秀彦、豊田祐輔
40	花岡和聖	Mobile phone big data analysis and the COVID-19 pandemic	2023 年 9 月	The People. Policy. Place Seminars Series at the Northern Institute, Charles Darwin University	Hanaoka, K.
41	花岡和聖	A dashboard application to explore population distribution derived from GPS location data during the COVID-19 pandemic in Kyoto, Japan	2023 年 8 月	The 31th International Cartographic Conference (ICC 2023)	Todd, J., Yano, K. and Hanaoka, K.
42	花岡和聖	Development of a Japanese 'GIS place name dictionary' as a basis for interdisciplinary research	2023 年 8 月	The 31th International Cartographic Conference (ICC 2023)	Yano, K., Hanaoka, K., Kamata, R., Shiode, N and Shiode, S.
43	花岡和聖	Spatio-temporal Visualization of Urban Population Using Spatial Big Data: A Case Study of Kyoto City during the COVID-19 Pandemic	2023 年 7 月	The Symposium on Spatiotemporal Data Science	Yano, K. and Hanaoka, K., Todd, J.
44	平尾和洋	亀岡駅南城下町地区の町並み修理修景方針と防火力向上に向けた予備的考察	2023 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 63 号計画系、pp. 250-253	
45	平尾和洋	京都における公共路地の評価要因に関する考察と防災力向上のためにケーススタディー	2023 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 63 号計画系、pp. 189-192	
46	平尾和洋	民家の屋敷構え・付属屋配置とクラ方位に関する定量的考察— 1960 年代緊急民家調	2023 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 63 号計画	

		査の配置図を用いた分析-		系, pp. 153-156	
47	平尾和洋	民家の付属屋配置と規模に関する定量的考察-岩手・宮城・群馬・鳥取各県農家と併列型・二棟系の配置図を用いた分析-	2023年6月	日本建築学会近畿支部研究報告集第63号計画系, pp. 149-152	
48	平尾和洋	亀岡駅南城下町地区の町並み修理修景方針と防火力向上に向けた予備的考察その2	2023年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集, pp. 1039-1040	
49	平尾和洋	京都における公共路地の評価要因に関する考察と防災力向上のためにケーススタディ-	2023年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集, pp. 465-466	
50	福水洋平	Noise Reduction Method based on Wavelet Decomposition for Real-time Processing of Biological Sound Separation for Disease Precaution System	2024年3月	2024 RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing	Sougo Miura, Yosuke Nakamura, Hiroto Nakashima, and Yohei Fukumizu
51	福山智子	電気インピーダンストモグラフィの測定電極数低減に向けた電流注入パターンの検討	2023年9月	第84回応用物理学会秋季学術講演会	皆川敬哉, 金子怜司, 乙出将, 太田慧吾, 小松裕明, 福山智子, 生野孝
52	本間睦朗	建築光環境における設計様式に関する研究	2023年9月	照明学会全国大会	本間睦朗
53	本間睦朗	建築における光環境設計と建築様式に関する研究	2023年9月	日本建築学会学術講演会	本間睦朗
54	本間睦朗	電力供給面から考察する京都市田の字地区のスマートシティ化に関する取組 Rhinocerosを活用した日射量シミュレーションと太陽光パネルの発電量の推定	2023年9月	日本建築学会学術講演会	福本真史, 本間睦朗
55	本間睦朗	自動角度制御ブラインドを有する窓の光環境シミュレーションに関する研究-IESファイル形式による配光データ作成の検討-	2023年9月	日本建築学会学術講演会	高部航南, 本間睦朗
56	持田泰秀	海浜型大型地下駐車場の劣化調査結果に関する考察	2023年9月	日本建築学会学術講演会	持田泰秀, 難波清孝
57	持田泰秀	PCa工法と在来工法のコンクリート表層性能の違いに関する研究その1強度発現日における設計基準強度とセメントの違いによる影響	2023年9月	日本建築学会学術講演会	山田和輝, 猪股史也, 持田泰秀, 坂田博史
58	持田泰秀	電気比抵抗を用いた場所打ち杭のスライムに関する研究 4種類の泥水による室内実験を通して	2023年9月	日本建築学会学術講演会	眞庭颯大, 持田泰秀
59	持田泰秀	電気比抵抗を用いた場所打ち杭のスライム処理の品質管理に関する研究 特殊ポンプとベントリープラントを用いた事例を通して	2023年9月	日本建築学会学術講演会	村松凌太, 持田泰秀, 酒井幸雄, 藤井敬次
60	持田泰秀	木材継手の加工法による構造性能の違いに関する実験的研究	2023年9月	日本建築学会学術講演会	猪口朝加, 持田泰秀, 船戸慶輔, 宮田桂
61	持田泰秀	ポリウレタ塗装による木部材の構造性能の向上に関する実験的研究	2023年9月	日本建築学会学術講演会	小原愛美, 持田泰秀, 大井高三
62	持田泰秀	Study on Quality Control of Slime Treatment of Driven-in-place Piles Using Electrical Resistivity - through a Case Study Using a Special Pump and a Bentley Plant	2023年12月	International Conference on Industrial Engineering and Engineering Management (IEEM)	Muramatsu ryota, Mochida yasuhide
63	矢野桂司	Extending Japanese Old Maps Online: GIS based Japanese gazetteer	2023年4月	Colloquium of Center for Geographic Analysis, Harvard University	Keiji Yano
64	矢野桂司	Spatio-temporal Visualization of Urban Population Using Spatial Big Data: A Case Study of Kyoto City during the COVID-19 Pandemic	2023年7月	The Symposium on Spatiotemporal Data Science	Keiji Yano, Kazumasa Hanaoka and James Todd

65	矢野桂司	Development of a Japanese 'GIS place name dictionary' as a basis for interdisciplinary research	2023年8月	the 31th International Cartographic Conference (ICC 2023)	Keiji Yano, Kazumasa Hanaoka, Ryo Kamata, Narushige Shiode and Shino Shiode
66	矢野桂司	A dashboard application to explore population distribution derived from GPS location data during the COVID-19 pandemic in Kyoto, Japan	2023年8月	the 31th International Cartographic Conference (ICC 2023)	James Todd, Keiji Yano and Kazumasa Hanaoka
67	矢野桂司	歴史災害復原へ向けた時空間情報の可視化—発掘調査データベースを用いたデータ駆動型研究の実践	2023年10月	地理情報システム学会第32回学術研究発表大会(2023年)	武内樹治・矢野桂司
68	山田悟史	リカレント型ネットワークを用いた未来予測による自動車走行中の異常検知	2023年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会 研究報告集, pp.137-140, 2023.6, 日本建築学会	中野雄大, 山田悟史
69	山田悟史	カリキュラム強化学習を用いたドローン点検に関する研究 コの字型壁面に対する経路生成	2023年9月	日本建築学会大会(関西)学術講演会梗概集(建築社会システム), pp.143-144, 2023.9, 日本建築学会	柴田拓海, 山田悟史
70	山田悟史	カーフバンディングにおけるスリットパターンと変形性能の関係性- MDF 板材の板材のデジタルファブリケーション加工を例に	2023年9月	日本建築学会大会(関西)学術講演会梗概集(建築計画), pp.561-562, 2023.9, 日本建築学会	荒井勇哉, 山田悟史
71	山田悟史	リカレント型ネットワークを用いた未来予測による自動車走行中の異常検知	2023年9月	日本建築学会大会(関西)学術講演会梗概集(情報システム技術), pp.127-128, 2023.9, 日本建築学会	中野雄大, 山田悟史
72	山田悟史	深層学習を用いたコンテンツ生成 AI との共創プロセスにおける中動態	2023年9月	日本建築学会大会(関西)学術講演会梗概集(情報システム技術), pp.139-140, 2023.9, 日本建築学会	原田真衣, 酒谷将将, 山田悟史
73	山田悟史	写真と文章に対する深層学習を用いたプリントカー受賞者の類似性	2023年9月	日本建築学会大会(関西)学術講演会梗概集(情報システム技術), pp.141-142, 2023.9, 日本建築学会	谷川奈央, 山田悟史
74	山田悟史	MR 空間における同室感に空間の個別性と認知度が与える影響	2023年9月	日本建築学会大会(関西)学術講演会梗概集(情報システム技術), pp.173-174, 2023.9, 日本建築学会	東田陽樹, 山田悟史
75	山田悟史	ヒートマップを用いたアニメーション映画における監督ごとの色彩傾向の差異の分析	2023年9月	日本建築学会大会(関西)学術講演会梗概集(情報システム技術), pp.179-180, 2023.9, 日本建築学会	古山大成, 山田悟史
76	山田悟史	モンテカルロシミュレーションによる緑視率期待値線図の作成	2023年9月	日本建築学会大会(関西)学術講演会梗概集(情報システム技術), pp.235-236, 2023.9, 日本建築学会	藤井健史, 山田悟史
77	山田悟史	Breathing Design System を用いた空間生成-建築とユーザーのインタラクションにおけるマテリアル検討-	2023年9月	日本建築学会大会(関西)学術講演会梗概集(デザイン発表会), pp.386-387, 2023.9, 日本建築学会	北本英里子, 山田悟史
78	山田悟史	批評文からとらえる建築家像の類似性 -近現代建築を対象に-	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp.13-16, 2023.12, 日本建築学会	谷川奈央, 越智広樹, 山田悟史
79	山田悟史	視野角によって異なる視認速度の把握	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp.17-20, 2023.12, 日本建築学会	本城真輝, 山田悟史
80	山田悟史	VR 空間における解像度と空間認知の関係性	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp.21-24, 2023.12, 日本建築学会	KIM Joonyoung, 山田悟史

81	山田悟史	剛体に対してカーブベンドングを施したヨシムラ円筒の剛性	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.301-304, 2023.12, 日本建築学会	荒井勇哉, 山田悟史
82	山田悟史	現実とリンクしたメタバースにおける行動とコミュニティの分析	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.127-130, 2023.12, 日本建築学会	小泉彰也, 山田悟史
83	山田悟史	モビリティ特性を生かした新たな設計手法の提案	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：インタラクティブ pp.317-318, 2023.12, 日本建築学会	米光陸, 山田悟史
84	山田悟史	デザイン検討におけるコンテンツ生成AIの利用による創発の類型的考察	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：インタラクティブ pp.321-322, 2023.12, 日本建築学会	大本和尚, 山田悟史
85	山田悟史	瞬時に組み立て可能な空間を構築する可動システムの提案-住空間での利活用の検討-	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：インタラクティブ pp.319-320, 2023.12, 日本建築学会	大島佳奈子, 山田悟史
86	山田悟史	多様な街路における自動車走行中の異常検知に関する研究-リカレント型ネットワークによる未来予測を用いて-	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.392-395, 2023.12, 日本建築学会	中野雄大, 山田悟史
87	山田悟史	曖昧な印象を内包する空間画像をクエリとする音楽レコメンドの提案	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.396-399, 2023.12, 日本建築学会	石橋京, 山田悟史
88	山田悟史	色対比効果を考慮した画像の色彩知覚の分析手法の提案	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.400-404, 2023.12, 日本建築学会	古山大成, 山田悟史
89	山田悟史	強化学習を用いた複数の建築物に対するドローン点検経路の自動生成	2023年12月	第46回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp.388-391, 2023.12, 日本建築学会	柴田拓海, 山田悟史
90	吉富信太	建築構造物の部分性能推定のための多チャンネル振動計測による逆問題手法の構築	2023年7月	日本建築学会大会(近畿)	山本康史, 吉富信太
91	吉富信太	CLTの折板構造の構造性能へ設計パラメータが及ぼす影響分析に基づく問題構造の把握	2023年7月	日本建築学会大会(近畿)	井川快斗, 吉富信太
92	吉富信太	地震時の建物被害の広域推定のためのニューラルネットワークを用いた応答予測および	2023年7月	日本建築学会大会(近畿)	李睿原, 佐田貴浩, 吉富信太
93	吉富信太	伝統的な木造軸組の制震ダンパー補強に関する実験研究	2023年7月	日本建築学会大会(近畿)	中治弘行, 須田達, 吉富信太, 鈴木祥之, 閻 崇兵
94	吉富信太	京町家の連棟間の接触部分が地震時応答に及ぼす影響に関する検討	2023年7月	日本建築学会大会(近畿)	井上斐文, 吉富信太
95	吉富信太	引きボルト接合を用いた木質中層ラーメン構造における設計支援のための性能の把握と決定法	2023年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	太田大貴, 吉富信太
96	吉富信太	曲線部材を用いた木質ユニット耐力壁の性能指定設計手法の提案および実験による検証	2023年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	吉富信太, 北地水砂騎
97	吉富信太	小幅パネルを用いた格子状 CLT 耐震壁の提案および性能推定法	2023年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	星山和輝, 吉富信太
98	吉富信太	京町家の連棟間の接触部分が地震時応答に及ぼす影響に関する検討	2023年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	井上斐文, 吉富信太
99	吉富信太	伝統木造建物の実大振動台実験の振動計測データに基づく応答解析モデルの構築	2023年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	中本蒼馬, 吉富信太, 向坊恭介
100	吉富信太	建築構造物の部分性能推定のための多チャンネル振動計測による逆問題手法の構築	2023年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会	山本康史, 吉富信太

		築			
101	吉富信太	CLT 折板構造の構造性能へ設計パラメータが及ぼす影響分析に基づく問題構造の把握	2023 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	井川快斗, 吉富信太
102	吉富信太	地震時の建物被害の広域推定のためのニューラルネットワークを用いた応答予測および影響要因分析	2023 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	李睿原, 佐田貴浩, 吉富信太
103	吉富信太	Application of power algorithm optimization for optimal placement of BRB in 3D shear wall frame building structure	2023 年 6 月	SBE2023	Hamid Nikzad, Shinta Yoshitomi
104	吉富信太	Optimal placement method of outrigger with BRB in a core wall system structure	2023 年 8 月	COMPdyn 2023 9th ECCOMAS Thematic Conference on Computational Methods in Structural Dynamics and Earthquake Engineering	Hamid Nikzad, Shinta Yoshitomi
105	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Los caminos y su valor como Patrimonio Cultural: Un estudio comparativo de los caminos prehispánicos en el distrito de La Molina (Lima, Perú) y los caminos históricos del pueblo de Iide (Yamagata, Japón)	2023 年 5 月	XXXV Congreso CANELA	
106	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Diáspora entre Perú y Japón: Nuevas perspectivas y posibilidades para la diplomacia científica	2023 年 8 月	Simposio Internacional "Nuevas perspectivas sobre la inmigración transnacional entre Perú y Japón"	
107	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Arqueología Pública y Patrimonio Cultural: Los desafíos actuales para la arqueología peruana	2023 年 9 月	IX Coloquio Internacional de Arqueología	
108	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	Una breve introducción a la diplomacia científica	2023 年 9 月	I Foro de Docentes e Investigadores Peruanos en Japón	
109	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	ヘリテージとレジリエンス—ペルーと日本における考古・歴史遺産の現代活用—	2023 年 11 月	公開シンポジウム「学際的視点から人類のレジリエンスを捉え直す」	
110	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	「パブリック考古学と地方自治体—ペルーリマ市における地方自治体との協働にともなう問題とその対策」	2023 年 12 月	古代アメリカ学会第 28 回研究大会・総会	
111	SHAKYA Lata	歴史的な仏教僧院における災害時の利活用—ネパールの歴史都市パタンにおける地域空間の防災拠点化に関する研究	2023 年 7 月	歴史都市防災シンポジウム	サキヤ ラタ、白野 裕之、田川 龍、大窪 健之、金 度源
112	Lata Shakya	Heritage Values of Buddhist Monasteries and Imperative of Safeguarding	2023 年 8 月	14th NEAJ Symposium on current and future technology, 2023	
113	SHAKYA Lata	Lessons Learned from the Post-Disaster Response of the 2015 Gorkha Earthquake: case studies of three different communities in Nepal	2023 年 9 月	The 13th International Conference of the International Society for Integrated Disaster Risk Management	Lata Shakya
114	Lata Shakya	Disaster Risk Management for Cultural Heritage in Asia-Pacific Region - Current State and Issues (3): Disaster Mitigation and Preparedness for Resilience Building"	2023 年 12 月	ACCU International Symposium for Senior Professionals 2023	
115	SHAKYA Lata	ネパール・パタン旧市街の歴史的資源および伝統的管理システムに関する実態調査—2015 年ゴルカ地震後の災害対応と被災建物の復旧を中心に—	2024 年 1 月	文化遺産国際協力コンソーシアム 第 44 回 回東南アジア・南アジア分科会	サキヤ ラタ、浅田なつみ

116	狭間恵三子	「伝統産業における後継者育成の取り組みと課題—堺市における刃物産業を事例に—」	2023年11月	日本地域経済学会 第35回全国大会	狭間恵三子
117	宮崎彩	国際的な文化遺産防災研修の変遷について	2023年7月	第17回歴史都市防災シンポジウム	
118	李敏	世界遺産における災害リスクと災害危機管理計画に関する研究 その1 世界遺産対象文献調査による災害リスクの特徴と災害事例の把握と課題の抽出	2023年5月	地域安全学会梗概集(横浜)	李敏
119	李敏	安全安心マップ作成を通じた防災力向上と課題——「第17回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告——	2023年12月	京都歴史災害研究	宮崎彩, 李敏, 村中亮夫, 花岡和聖
120	白石陽子	新指標によるセーフコミュニティの進め方	2023年10月	2023年度セーフコミュニティ研修会	白石陽子
121	白石陽子	日本版セーフコミュニティ～国際版との比較～	2024年1月	2023年度セーフコミュニティ定例会	白石陽子
122	林敏	体積含水率を用いた土壌雨量指数のパラメータ同定の正規化による手法	2023年5月	令和5年度(公社)砂防学会研究発表会	林敏・藤村光・宮崎祐輔・小山倫史・岸田潔・里深好文
123	林春男	「日本海中部地震からの40年間の防災科学の歩みをふりかえる」	2023年7月	弘前大学「日本海中部地震から40年、防災科学の進歩」講演会 基調講演、弘前市	
124	Yuko ISHIDA	Monitoring tilt variation of the brick pagoda in Ayutthaya, Thailand	2023年4月	The ATC19 International Workshop on Geotechnical Engineering for Cultural Heritage “Geo-SAKURA 2023”、奈良文化財研究所	Hajime Ito
125	青木和人	登記所備付地図オープンデータを用いた土地画形状分析	2023年10月	第32回地理情報システム学会研究発表大会	
126	青木和人	シチズンサイエンスによる三重県の交通事故統計情報オープンデータ分析	2023年9月	2023年日本社会情報学会(SSSI)全国大会	
127	石田優子	【報告】世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の避難時における土砂災害リスク—横垣峠の事例—	2023年7月	第17回歴史都市防災シンポジウム、立命館大学衣笠キャンパス	坂原秀亮、平井千津子
128	石田優子	熊野古道伊勢路における土砂災害リスク分析	2023年9月	第42回日本自然災害学会学術講演会、金沢大学	
129	石田優子	観光防災における熊野参詣道土砂災害リスク評価および周知の課題	2023年9月	(公社)日本地すべり学会第62回研究発表会、高山市民文化会館	
130	石原凌河	2011年3月9日の三陸沖地震での防災意識と行動に関する研究	2023年12月	日本災害復興学会 2023年度静岡大会	田中大貴
131	石原凌河	東日本大震災の被災地域における医療施設の動向に関する研究	2023年11月	地域安全学会第53回研究発表会(秋季)	福島麻斗
132	石原凌河	市町村地震ハザードマップの統一性と整合性に関する研究	2023年11月	地域安全学会第53回研究発表会(秋季)	香出海人
133	Ryoga Ishihara	International comparison of roles and participation of volunteers after disasters: Cases from Italy, United States, Taiwan, and New Zealand	2023年9月	The 12th Conference of the Pacific Rim Community Design Network	Yoko Saito, Fuhsing Lee, Elizabeth Maly
134	石原凌河	南海トラフ地震による津波想定地域における商業店舗代表者の移転意向に関する研究	2023年7月	日本都市計画学会第21回関西支部研究発表会	杉山和則
135	Ryoga Ishihara	Content Analysis of Narratives on COVID-19 by the Japanese Digital Native Generation Using Topic Modeling	2023年7月	18th International Pragmatics Conference, Narratives on COVID-19 experiences in the digital age	
136	岡田篤正	1:25,000活断層図—地理院活断層図「師崎」の新知見	2023年11月	日本活断層学会2023年度秋季学術大会一般研究発表講演要旨集、p.13	鈴木康弘・石山達也・安江健一・五味雅宏
137	小野 聡	ネットワーク構造を援用した中山間地域における雪害の社会的影響に関するシミュレーション	2024年2月	第3回計算社会科学会(CSSJ)、大阪	木村道徳
138	桐村 喬	京都市都心部における建物高さの変化の都市地理学的検討	2023年9月	人文地理学会都市圏研究部会第69回研究会、キャンパ	

				スプラザ京都	
139	桐村 喬	ツイッターデータの空間分析—成果と課題—	2023年9月	2023年日本地理学会秋季学術大会、関西大学千里山キャンパス	
140	桐村 喬	空中写真に基づく DSM を利用した建物倒壊状況の把握の試み—令和 6 年能登半島地震を事例に	2024年3月	2024年日本地理学会春季学術大会、青山学院大学青山キャンパス	
141	桐村 喬	令和 6 年能登半島地震による七尾市中心市街地の建物被害	2024年3月	青山学院大学青山キャンパス	楯原京子
142	佐藤 貴史	ユダヤ学と政治のあいだ——ユダヤ人文化学術協会、エデュアルト・ガンス、イマヌエル・ヴォルフ	2024年3月	第48回政治哲学研究大会	
143	壽崎かすみ	犬猫飼育者の安全な同行避難実現に関する研究—広島県と大阪府でのケーススタディ	2023年10月	日本地域学会 2023年度大会 名古屋大学	
144	鈴木祥之	伝統構法木造建築物と実大振動台実験について	2024年3月	第71回構造力学コロキウムプログラム	
145	鈴木祥之	制震ダンパー付木造軸組の正負繰り返し加力実験	2023年11月	第16回日本地震工学シンポジウム	中治弘行、須田 達、吉富信太、閻 崇兵
146	高橋彰	メモリーグラフを用いた京都の町並み変化に関する地域学習教材に関する研究	2024年2月29日	【ROIS-DS】第4回成果報告会	北本朝展
147	中野元太	防災教育のインターローカルな展開	2023年6月	防災教育学会第4回大会	中野元太・岡田夏美・矢守克也
148	中野元太	地区防災計画の国際比較	2023年9月	第42回自然災害学会学術講演会	杉山高志・中野元太・矢守克也
149	中野元太	International Comparative Study of Community Disaster Management Plans	2023年9月	The 13th International Conference of the International Society for the Integrated Disaster Risk Management	Takashi SUGIYAMA, Genta NAKANO, Liang ZICHAO, Katsuya YAMORI
150	中野元太	Top-down, horizontal and inter-local development of disaster risk reduction education	2023年9月	The 13th International Conference of the International Society for the Integrated Disaster Risk Management	Genta NAKANO, Katsuya YAMORI, Natsumi OKADA, Takashi SUGIYAMA
151	中野元太	三者関係のダイナミズムから見る防災実践	2023年10月	日本災害情報学会 第27回学会大会	中野元太
152	中野元太	若者語り部と「語らいの場」—語り部活動が生む集会的トラウマと回復に向けた試み—、分科会 2 地域が抱える傷—「集会的トラウマ」を捉えるために	2023年12月	日本災害復興学会 2023年度静岡大会	中野元太・諏訪清二
153	中野元太	地域防災における住民と専門家の関係性の検討—台湾の自主防災組織の育成を事例に—	2024年3月	地区防災計画学会第10回大会	李勇昕・竹之内健介・中野元太・巫仲明・許瓊文・矢守克也
154	中野元太	在留外国人との防災の場づくり—共生社会を目指して—	2024年3月	地区防災計画学会第10回大会	中野元太・山瀬麻里絵
155	中野元太	中・長期的な防災教育効果の持続のための教育カリキュラム構築に関する考察	2024年3月	日本災害情報学会第28回学会大会	岡田 夏美・中野 元太・大西 祐輔・藤本 温子・矢守 克也
156	中野元太	メキシコにおけるアメトレの効果と日本との比較	2024年3月	日本災害情報学会第28回学会大会	石坂茉央・竹之内健介・Rodrigo Garibay・中野元太
157	藤井健史	モンテカルロシミュレーションによる緑視率期待値線図の作成	2023年9月	2023年度日本建築学会大会学術講演会、京都大学	山田悟史
158	丸岡稔典	電動車椅子利用者が公共空間で経験する否定的態度	2023年8月	第37回リハ工学カンファレンス・東京大学	鴨治慎吾・宮野秀樹
159	米島万有子	人と蚊との接触機会における季節消長の空間解析	2023年10月	第32回地理情報システム学会研究発表大会	桐村 喬、埴淵知哉、駒形 修、中谷友樹
160	米島万有子	ミクロスケールにおけるデング熱媒介蚊の生息環境とリスク評価	2023年9月	2023年日本地理学会秋季学術大会	渡邊高志、駒形 修

4. 主催したシンポジウム・研究会等

No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
-----	-------	------	------	------	-------

1	第1回定例研究会	オンライン(ZOOM)	2023年4月	50名	
2	第2回定例研究会	オンライン(ZOOM)	2023年5月	35名	
3	第3回定例研究会	オンライン(ZOOM)	2023年6月	16名	
4	第4回定例研究会	オンライン(ZOOM)	2023年10月	43名	
5	第5回定例研究会	オンライン(ZOOM)	2023年12月	22名	
6	第6回定例研究会	オンライン(ZOOM)	2024年2月	59名	
7	第7回定例研究会	ハイブリッド	2024年3月	67名	
8	シンポジウム	衣笠キャンパス	2023年7月	179名	なし
9	International Expert Panel Discussion on "Good Practices for Disaster Risk Management of Cultural Heritage"	歴防カンファレンス	2023年9月	40名	ICCROM
10	A seminar on the outcomes of the survey on Bahabahi of Patan	Achhyeshwor Mahavihar	2023年10月	52名	Boudha Vihar Sangha
11	A workshop on disaster mitigation planning by local community	Bu Baha Digi	2023年10月	35名	Bu Baha Sarva Sangha
12	日本学術振興会・トルコ科学技術研究機構 二国間共同研究「イスタンブール歴史地区の防災強化に向けた共助体制構築とITツールの効果的活用実証」シンポジウム	トルコ共和国 イスタンブールベイオウル区	2023年8月	80名	帝京平成大学 東京大学 文京学院大学 Bahçeşehir University (トルコ) Yıldız Teknik University (トルコ)
13	日本学術振興会・トルコ科学技術研究機構 二国間共同研究「イスタンブール歴史地区の防災強化に向けた共助体制構築とITツールの効果的活用実証」シンポジウム	トルコ共和国 イスタンブールベイオウル区	2023年8月	80名	帝京平成大学 東京大学 文京学院大学 Bahçeşehir University (トルコ) Yıldız Teknik University (トルコ)
14	「伝統的構法のための木造耐震設計法」セミナー	高山市民会館	2024年2月10日-11日	50名	飛騨高山伝統構法木造建築物研究会、(一社)岐阜県建築士事務所協会

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	青柳憲昌	「姫路城の『ひねり掛け』——撫でる鏡が生みだす屋根の味わい」青柳憲昌、『建築士』2023年4月号 日本建築士会連合会発行、表紙見返し	『建築士』日本建築士会連合会発行	2023年4月
2	青柳憲昌	「駿府城の『荒打ち』——厚い土壁の内部に残された『原始』」青柳憲昌、『建築士』2023年6月号、 日本建築士会連合会発行、表紙見返し	『建築士』日本建築士会連合会発行	2023年6月
3	青柳憲昌	『第二版あとがき』『日本近代の建築保存方法論——法隆寺昭和大修理と同時代の保存理念[第二刷]』青柳憲昌、中央公論美術出版、2023、pp. 380-385	『日本近代の建築保存方法論——法隆寺昭和大修理と同時代の保存理念』中央公論美術出版	2023年6月
4	青柳憲昌	「平城宮の「手斧がけ」——製材と仕上げの密接な関係」青柳憲昌、『建築士』2023年7月号、 日本建築士会連合会発行、表紙見返し	『建築士』日本建築士会連合会発行	2023年7月
5	青柳憲昌	廣瀬家住宅主屋（京都府亀岡市）登録有形文化財（建造物）登録に関わる業務（登録年月日：2023年8月7日）		2023年8月
6	青柳憲昌	「菅田庵の「荒壁仕舞い」」青柳憲昌、『建築士』2023年9月号、 日本建築士会連合会発行、表紙見返し	『建築士』日本建築士会連合会発行	2023年9月
7	青柳憲昌	「浅草寺のチタン瓦——屋根の「進化」が生みだしたRC造寺院の外観」青柳憲昌、『建築士』2023年12月号、 日本建築士会連合会発行、表紙見返し	『建築士』日本建築士会連合会発行	2023年12月
8	阿部俊彦	貴生川まちづくり活動支援業務委託（その2）	甲賀市	2023年4月-2024年3月

9	阿部俊彦	キャンパス周辺の地域資源を活かしたウォークアブルなまちづくり その他の補助金・助成金	草津市	2023年4月-2024年3月
10	阿部俊彦	びわこ文化公園都市における学生フレンドリー地域づくりに関する調査研究 受託研究	共同 滋賀県	2023年4月-2024年3月
11	阿部俊彦	産官学連携によるオープンスペースの創造的利活用に向けた社会実験	立命館大学	2023年6月-2024年3月
12	阿部俊彦	老上学区まちづくり計画策定のためのまちづくりワークショップ	草津市	2023年6月-2024年2月
13	阿部俊彦	気仙沼市三八・庁舎跡地検討ワークショップ	気仙沼市	2023年7月-2024年3月
14	阿部俊彦	草津市 UDCBK 都市マネジメントスクール ワークショップ及び計画提案	草津市	2023年8月-2024年2月
15	阿部俊彦	流域治水時代のまちづくり国際学生国際ワークショップ	亀岡市	
16	阿部俊彦	日本建築学会シャレットワークショップ@水口宿	甲賀市	
17	阿部俊彦	守山駅東口再整備基本計画に係るワークショップ	守山市	2023年10月
18	金度源	ふらっと in パーク社会実験	びわ湖文化公園	2023年10月
19	金度源	びわ湖文化公園における防災キャンプ社会実験	びわ湖文化公園	2023年10月~2023年11月
20	金度源	京都市伏見区深草総合防災訓練指導	京都市深草中学校	2023年11月
21	木村智	南草津にふさわしいウォークアブルな街路空間と巡礼ルートの作成 (玉川学区まち歩きワークショップ (第1回・第2回))	アーバンデザインセンターびわこ・くさつ (UDCBK)	2023/5 ~ 2024/3
22	鈴木祥之	第2回高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル事例報告会	高山市役所行政委員会室	2023年12月3日
23	高橋学	次は首都圏巨大地震のリアル	フライデー	2024年1月26日
24	高橋学	能登地震の生と死	週刊新潮	2024年1月18日
25	高橋学	次は東京、南海トラフ	女性セブン	2024年1月18日・25日合併号
26	高橋学	大阪万博で災害発生	日刊ゲンダイ	2024年1月12日
27	高橋学	能登半島地震甘かった事前評価	夕刊フジ	2024年1月12日
28	高橋学	近づいているのか南海トラフ巨大地震	日刊ゲンダイ	2024年1月5日
29	高橋学	M7 級地震要警戒地域	夕刊フジ	2024年1月5日
30	高橋学	次の巨大地震は首都圏で起きる	フライデー	2023年5月26日
31	高橋学	首都直下の前兆の恐れ	日刊ゲンダイ	2023年5月25日
32	高橋学	富士山噴火不気味リスク	夕刊フジ	2023年5月24日
33	高橋学	M7 級巨大地震大阪万博直撃も	日刊ゲンダイ	2023年5月13日
34	高橋学	東京 23 区直下厳重警戒	夕刊フジ	2023年5月12日
35	高橋学	能登半島群発地震いつ終わるのか	日刊ゲンダイ	2023年5月8日
36	高橋学	南海トラフなど太平洋岸に連動	夕刊フジ	2023年5月7日
37	高橋学	大規模停電のリスク	夕刊フジ	2023年4月21日
38	持田泰秀	令和5年石川県能登地方を震源とする地震による加賀屋被災調査		2024年1月~2024年3月
39	持田泰秀	大規模車両製造工場の立案設計		2023年1月~2024年3月
40	持田泰秀	令和4年の奥能登を震源とする地震の建物被害調査		2023年5月~2024年3月
41	持田泰秀	総合大学施設の長期保全計画の立案		2023年4月~2024年3月

42	山田悟史	グラスルーツプロジェクト「STEAM 教育としての BKC HACK」の一環として BKC 祭に電腦連騎(れんい)を出展	グラスルーツプロジェクト「STEAM 教育としての BKC HACK」の一環として立命館大学ひわこくさつキャンパスの学園祭「BKC 祭」にプロジェクトマッピング技術を利用した「電腦連騎(れんい)」を出展した。	2023 年 4 月
43	山田悟史	MINAKUSA こだわりマルシェへの出展	CAD/CG 演習 2022 で制作したデジタルアプリケーション型段ボール家具 + α を 5 月 27 日に南草津駅の西口で開催された「MINAKUSA こだわりマルシェ」に出展した。	2023 年 5 月
44	山田悟史	建築情報学会 短期集中型ワークショップ Fes 2023開催	6 月 9 日から 16 日かけて建築情報学会 短期集中型ワークショップ Fes 2023 を開催し、建築情報を軸に様々な背景をもつ参加者が建築や情報について考えアウトプットする機会の創出を試みた。本研究室からも数名が参加し、作品を制作した。	2023 年 6 月
45	山田悟史	滋賀県草津市 草津川跡地公園 de 愛ひろば「本とアイス」に本棚を出展	滋賀県草津市 草津川跡地公園 de 愛ひろばでのイベント「本とアイス」内で、本の展示や交換によって本を紹介しあう「公園で本を広げよう！」プログラム(みなくさまちライブラリー)に自作された円錐型のダンボール本棚を出店	2023 年 8 月
46	山田悟史	デジタルチャンバラを滋賀県草津市 草津川跡地公園 de 愛ひろばで共催	滋賀県草津市 草津川跡地公園 de 愛ひろばでプロジェクトマッピングを利用したチャンバラ「デジタルチャンバラ」の体験会を実施した。	2023 年 9 月
47	山田悟史	立命館大学 BKC ウェルカムデーにて理工学部ブース「モノ作り最先端の体験」を出展	立命館大学 BKC ウェルカムデー 理工学部ブース「モノ作り最先端の体験」にて、VR 体験等のブースを出展した。	2023 年 11 月
48	山田悟史	建築情報学会 主催シンポジウム「コンテンツ生成 AI からみる建築情報学」を開催	建築情報学会 主催シンポジウム「コンテンツ生成 AI からみる建築情報学」を開催した。また、第三部「AIと建築情報技術ビジネス」にて司会を担当した。	2023 年 11 月
49	山田悟史	情報シンポ 2023 (日本建築学会 第 46 回情報・システム・利用・技術シンポジウム)を開催		2023 年 12 月
50	前田一馬	カーギル・ノットの気候観測	『軽井沢ヴィネット』132 号、110-111 頁	2023 年 4 月
51	前田一馬	「避暑地競馬!？」—軽井沢競馬場の風景—	『軽井沢ヴィネット』133 号、118-119 頁	2023 年 7 月
52	宮崎彩	Conservation, Disaster Risk, and Management Plan for Janjevo, Kosovo	Kosovo	2023 年 6 月~2023 年 10 月
53	白石陽子	セーフコミュニティ 政策アドバイザー	亀岡市	2011 年 4 月~現在
54	石田優子	【講演】タイ王国アユタヤの歴史的レンガ造仏塔のはなし	みえアカデミックセミナー2023、三重県文化会館レセプションルーム	2023 年 7 月 26 日
55	植村善博	絵図が語る近世宇治川の洪水と巨椋池の変遷	京都産業大学ギャラリー	2023 年 6 月 10 日
56	植村善博	日本の禹王遺跡と災害	日本水防災普及センター	2023 年 11 月 22 日
57	梶 秀樹	東京防災学習セミナー	各自防災組織集会場にて、合計 12 回	2023 年 4 月~2024 年 3 月
58	大邑 潤三	1830 年文政京都地震による 亀岡盆地および周辺の被害について	生涯学習施設・道の駅 ガレリアかめおか 丹波学トーク「地震と丹波」第 2 回	2024 年 2 月 10 日
59	大邑 潤三	文政京都地震 亀岡の被害	京都新聞 丹波版 口丹随想	2024 年 3 月 25 日
60	中野元太	先生・生徒の主体性が地震・津波から命を守る	国際開発ジャーナル No. 801 国際開発ジャーナル社	2023 年 9 月 1 日,
61	中野元太	特集 関東大震災から 100 年知って備える大震災	月刊ジュニアアエラ 9 月号 朝日新聞出版	2023 年 9 月 15 日
62	中野元太	「日本の防災力を世界へ」	NHK 総合テレビ 明日を守るナビ	2023 年 10 月 29 日
63	米島万有子	日本家庭用殺虫剤工業会 広報部会・技術部会総会での講演	熊本市・ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ	2023 年 9 月
64	米島万有子	小学生向けの安全安心マップ作成イベントの講師	京都トヨタ自動車株式会社 GR ガレージ京都 伏見	2023 年 8 月

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	阿部俊彦	照明学会	照明施設賞	気仙沼内湾ウォーターフロント(魚町、南町、港町地区全体)	2023年
2	伊藤真一	地盤工学会	第58回地盤工学研究発表会優秀発表賞		2023年9月
3	鐘ヶ江秀彦	特定非営利法人 日本シミュレーション & ゲーミング学会	日本シミュレーション & ゲーミング学会賞		2023年11月
4	金度源	内閣府	防災功労者内閣総理大臣表彰受賞	先斗町まちづくり協議会	2023年9月
5	里深好文	公益社団法人 土木学会 構造工学小委員会 AI・データサイエンス論文集編集小委員会	デジタルツイン奨励賞	メタバースを活用したハザード・マップの高度化に向けた実践的取り組み～iHazard map project～	2023年6月
6	豊田祐輔	Asia-Japan Research Institute, Ritsumeikan University	Best Article Award for AJI Journal of 2022 (Gold)	Factors Contributing to Community-Based Disaster Risk Reduction for Foreign Residents in Japan	2023年5月
7	藤本将光	公益社団法人土木学会構造工学小委員会 AI・データサイエンス論文集編集小委員会	デジタルツイン奨励賞	メタバースを活用したハザード・マップの高度化に向けた実践的取り組み～iHazard map project～	2023年6月6日
8	矢野桂司	公益社団法人都市住宅学会	2023年都市住宅学会賞・論文賞	論文:『ひとり親世帯の公営住宅団地の地域選択における傾向』『都市住宅学』116号掲載	2023年12月
9	小野聡	計算社会科学会	構造計画研究所特別賞(スポンサー賞)	ネットワーク構造を援用した中山間地域における雪害の社会的影響に関するシミュレーション	2024年2月
10	中野元太	日本自然災害学会	学術奨励賞	防災ナッジの概念整理 - Nudge or Judge?それが問題だ -	2023年9月

7. 科学研究費助成事業(科研費)						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	吉富信太	建築構造物の部分損傷推定のための多チャンネル振動計測による逆問題手法の構築	基盤研究(B)	2023年4月	2026年3月	代表
2	山田悟史	深層学習を基盤とするコンテンツ生成型AIと人間の共創	基盤研究(C)(一般)	2023年4月	2027年3月	代表
3	夏目宗幸	江戸幕府による地域掌握と開発過程の解明	若手研究	2023年4月	2027年3月	代表
4	前田一馬	高原の誕生—近現代の日本における新たな風景の発見—	若手研究	2023年4月	2027年3月	代表
5	矢野桂司	谷岡武雄写真資料のデジタルアーカイブ	研究成果公開促進費(データベース)	2023年4月		代表
6	大場修	図説 付属屋と小屋の建築誌 —もう一つの民家の系譜—	研究成果公開促進費(学術図書)	2023年4月		代表
7	石原凌河	災害時の行政との協働における非営利組織の主体性維持に関する研究	基盤研究(B)	2023年4月	2026年3月	分担
8	桐村 喬	3次元視点からみた高度成長期以降の大都市圏における居住分化の変容過程	基盤研究(C)	2023年4月	2026年3月	代表

8. 科研費を除くすべての外部資金(政府系、民間財団、民間企業との共同研究費等)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	大窪健之	地域防災情報ネットワーク事業課に向けた内容検討と構成機器の評価等及び自治体・住民との協議支援	能美防災との技術指導	2023年4月	2024年3月	代表
2	里深好文 藤本将光	水理模型実験によるコンクリートブロック堰堤の透水機能と性能に関する考察	共和コンクリート受託研究	2023年6月	2024年3月	共同

3	大場修	亀岡駅南城下町地区における伝統的建造物の保存対策調査	亀岡市との受託研究	2023年4月	2024年3月	代表
4	大場修	南越前町今庄宿修景デザインガイドライン策定業務	南越前町との受託研究	2023年4月	2024年3月	代表
5	大場修	南丹市 かやぶき民家調査	南丹市との受託研究	2023年4月	2024年3月	共同
6	高橋彰	メモリーグラフを用いた京都の町並み変化に関する地域学習教材に関する研究	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設(ROIS-DS) 公募型共同研究「ROIS-DS-JOINT」	2023年7月	2024年3月	代表
7	中野元太	北中米太平洋沿岸部における巨大地震・津波複合災害リスク軽減に向けた総合的研究	地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)	2023年5月	2029年3月	代表

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1	大窪健之	地域防災情報システム	本学共同者	その他	2020-070342			日本
2	大窪健之	消火用ノズル	本学共同者	筆頭発明者	2014-206815			日本
3	福水洋平	二次元コード、生成装置、読取装置、及び、コンピュータプログラム		道関隆国、福水洋平、見澤淳一、木村健太郎	特願 2021- 127832	特開 2023- 22772	7253749	日本
4	藤本将光	透水試験装置および透水試験方法	本学共同者		2013-193946			日本
5	藤本将光	土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法	本学共同者		2015-102216			日本